

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター一年報 28

—令和元年度—

2020年3月

島根県教育委員会



森原下ノ原遺跡絵画土器出土状況



山代原古墳石棺式石室

目 次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
Ⅰ 令和元年度の調査体制	2
1. 組織	2
2. 職員一覧	2
Ⅱ 埋蔵文化財活用事業	3
1. 埋蔵文化財調査センター講演会	3
2. 現地説明会	3
3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』	4
4. 心に残る文化財こども塾	4
5. 職場体験学習等の受け入れ	5
6. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	5
7. 教員のための文化財活用講座	6
8. 見学等の案内	6
9. 職員の講師派遣	6
10. その他	7
11. 資料の貸出・調査等	8
Ⅲ 研究事業	14
Ⅳ 研修事業	15
1. 埋蔵文化財基礎研修	15
2. 埋蔵文化財専門研修	15
Ⅴ 会議・講習会等参加	17
Ⅵ 発掘調査事業	18
1. 一級河川江の川直轄河川改修事業（森原地区）に伴う発掘調査	19
2. 一般国道9号（三隅益田道路）改築工事に伴う発掘調査	20
3. 斐伊川水系大橋川河川改修事業に伴う発掘調査	21
4. 国道432号（大庭バイパス）建設に伴う発掘調査	22
5. 大規模民間開発に伴う発掘調査	23
Ⅶ 学術調査	25
1. 史跡出雲国府跡	25
2. 山代原古墳	26
3. 考古資料基礎調査研究（墓制調査）	27
4. 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）	27
5. 保存処理・理化学分析	28
6. 試掘確認・分布調査	31
Ⅷ 県内発掘調査一覧	32

IX 刊行物	34
1. ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）	34
2. 報告書	34
3. パンフレット	34

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝の出雲大社本殿、神魂神社本殿、松江城天守、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992（平成4）年に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日 平成4（1992）年4月1日

所在地 〒690-0131 島根県松江市打出町33番地

TEL：0852-36-8608 FAX：0852-36-8025

メールアドレス：maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページアドレス：http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/

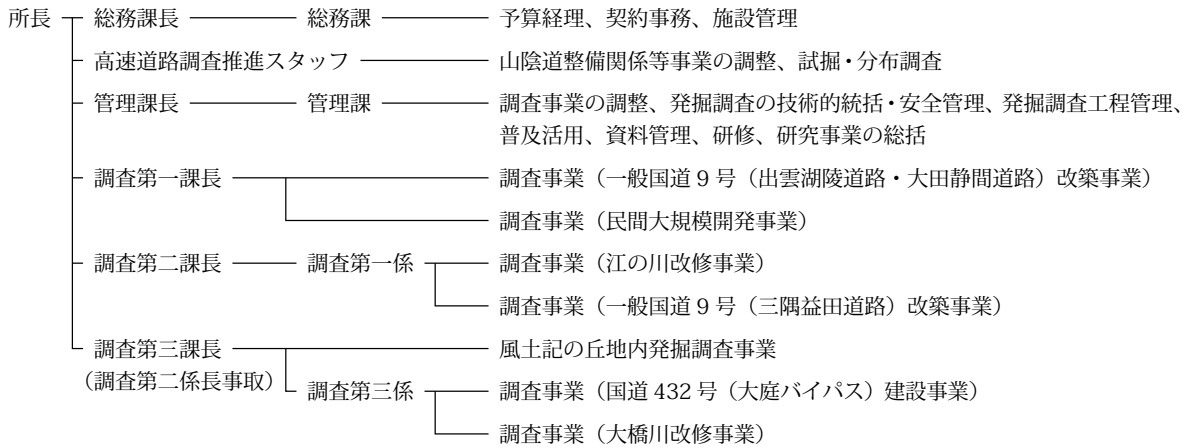
施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡
	所長室	25㎡		小計	1,620㎡
	事務室・調査研究室	315㎡	いにしえ 学習館棟	体験学習室	95㎡
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼務写場）	86㎡
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡
	理化学分析室	35㎡			
	鉄器処理室	35㎡			
	木器処理室	35㎡			
	水洗室	70㎡			
	その他	942㎡			
	小計	2,519㎡			小計
			合計	7,835㎡	

I 令和元年度の調査体制

1. 組織

島根県埋蔵文化財発掘調査センター



2. 職員一覧

職名	氏名
所長	椿 真 治
総務課	
課長	和 田 諭
企画員	藤 原 由 美
嘱託員	三 島 美 葉 子
	岩 成 真 代
	大 澤 康 佑
事務補助員	大 前 孝 之
高速道路調査推進スタッフ	
調整監	角 田 徳 幸
企画幹	大 庭 俊 次
管理課	
課長	守 岡 正 司
文化財保護主任	稲 田 陽 介
企画員 (兼)	澤 田 正 明
調査補助員	上 山 晶 子
調査第一課	
課長	深 田 浩
主事	今 福 拓 哉
主事	岩 崎 孝 平
嘱託員	園 山 薫
調査補助員	阿 部 智 子
	片 寄 雪 美
	角 森 玲 子
	糸 賀 伸 文
	渡 邊 真 二
	福 田 市 子

職名	氏名
調査第二課	
課長	宮 本 正 保
調査第一係長	東 森 晋
企画員	久 保 田 一 郎
主事	真 木 大 空
嘱託員	松 山 智 弘
嘱託員	柳 浦 俊 一
調査補助員	幸 村 康 子
	伊 東 豊
	長 嶺 康 典
	飯 塚 由 起
調査第三課	
課長	間 野 大 丞
調査第二係長 (事取)	
主任主事	吉 松 優 希
調査第三係長	中 川 寧
企画員	伊 藤 智
文化財保護主任	廣 江 耕 史
嘱託員	阿 部 賢 治
調査補助員	岩 橋 康 子
	樋 野 千 晴
	米 田 美 江 子
	佐 野 木 信 義
	内 田 律 雄
	原 英 誉
	大 田 晴 美

Ⅱ 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

1. 埋蔵文化財調査センター講演会

島根県埋蔵文化財調査センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

令和元年度は、浜田開府 400 年を記念して、石見地方の山城をテーマとした講演会を、以下の通り開催した。

令和元年度島根県埋蔵文化財調査センター講演会

「浜田開府 400 年記念 石見の山城を考える ―土の城から石の城へ―」

日 時：令和元年 7 月 6 日（土）13：30～16：30（13：00 開場）

会 場：浜田市石見公民館（浜田市黒川町 132-2）

参加者数：110 名

主 催：島根県埋蔵文化財調査センター

共 催：浜田市教育委員会

内 容：基調講演「島根の山城 ―中世から近世へ―」

高屋茂男（島根県立八雲立つ風土記の丘）

報告 1「普源田砦跡 ―15 世紀後半から 16 世紀前半の城―」

東森 晋（島根県教育庁埋蔵文化財調査センター）

報告 2「七尾城跡 ―領主が居住した戦国時代の山城―」

松本美樹（益田市教育委員会文化財課）

報告 3「浜田城跡 ―近世の城―」

藤田大輔（浜田市教育委員会文化振興課）

2. 現地説明会

調査中の遺跡の一般公開、調査地近隣自治会への調査成果報告会を行った。

遺 跡 名	開 催 日	場 所	備 考	参加者数
西百塚山 19 号墳	令和元年 5 月 25 日（土）	松江市大草町		50 名
猪子原遺跡	令和元年 9 月 1 日（日）	飯石郡飯南町	地元自治会向け	17 名
下黒田Ⅱ遺跡	令和元年 9 月 7 日（土）	松江市大庭町		40 名
森原下ノ原遺跡	令和元年 10 月 6 日（日）	江津市松川町		30 名
若宮谷遺跡	令和元年 10 月 27 日（日）	松江市朝酌町	地元自治会向け	20 名
出雲国府跡	令和元年 11 月 16 日（土）	松江市大草町		70 名
上ノ谷遺跡	令和元年 11 月 27 日（水）	飯石郡飯南町	地元自治会向け	20 名
山代原古墳	令和元年 12 月 22 日（日）	松江市山代町	一般公開・地元自治会向け	80 名
森原下ノ原遺跡	令和 2 年 1 月 25 日（土）	江津市松川町		50 名

合 計 377 名

3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、調査の成果や当センターで保管している出土品などを活用して開催するイベント。今年度は親子を対象とした古代体験活動「いにしえ倶楽部 夏休み子供スペシャル」を1回実施した。また歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講座「いにしえ倶楽部 連続講座」を2回行った。

(1) 夏休み子供スペシャル

実施日	テーマ	会場	内容	参加者数
8月19日(月)	きみも卑弥呼の鏡を作ろう！	埋蔵文化財調査センター研修室	遺跡出土の青銅鏡解説・展示・ミニ金属鏡の鑄造研磨体験	78名

合計 78名

(2) いにしえ倶楽部連続講座

実施日	演題	講師	参加者数
6月23日(日)	しまねの発掘最新情報	深田 浩、宮本正保、廣江耕史	参加者数
9月29日(日)	王墓出現前夜の山陰 ～弥生時代前半期の墓制～	今福拓哉	66名

合計 120名

4. 心に残る文化財こども塾

県内の小・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材として、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業を行った。

番号	学校名	実施日	対象学年	人数	テーマ・主題等	体験活動等
1	奥出雲町立八川小学校	5/14(火)	5・6	15	郷土の歴史を学ぼう！～鏡づくりにも挑戦！～	金属鏡作り
2	浜田市立松原小学校	5/14(火)	6	24	学校周辺の遺跡と奈良の大仏	大仏パネル
3	奥出雲町立布勢小学校	5/14(火)	6	9	古墳時代の生活に思いを寄せ、火おこし体験や埴輪づくりをしよう	はにわ作り 火おこし
4	邑南町立瑞穂小学校	5/16(木) (5/15から)	6	21	奈良の大仏と古代の邑南町	大仏パネル 金属鏡作り
5	浜田市立旭小学校	5/17(金)	6	23	奈良時代の浜田と奈良の大仏	和同開珎 大仏パネル
6	出雲市立窪田小学校	5/24(金)	6	10	古代の人々の生活にふれよう～勾玉づくりに挑戦～	勾玉作り
7	出雲市立みなみ小学校	5/28(火)	6	23	奈良時代の乙立、朝山周辺と律令社会—通貨の発行と大仏造立—	和同開珎 大仏パネル
8	松江市立古江小学校	5/30(木)	6	40	ふるさとの歴史を学ぼう～鏡作りに挑戦～	金属鏡作り
9	雲南市立加茂小学校	5/30(木)	6	52	ふるさと加茂町の歴史を学ぼう	遺跡見学 勾玉作り
10	雲南市立阿用小学校	5/31(金)	5・6	15	奈良の大仏と阿用の歴史	大仏パネル 和同開珎
11	出雲市立平田小学校	6/4(火)	6	54	ふるさとの歴史と「奈良の大仏」に込められた思い	大仏パネル
12	出雲市立荒木小学校	6/5(水)	6	77	ふるさとの歴史(風土記に記された荒木小学校周辺の歴史)と「奈良の大仏」に込められた思い	大仏パネル
13	飯南町立赤名小学校	6/6(木)	6	14	昔の人が使っていた鏡を作って、古代の人々の文化や技術を知ろう	金属鏡作り
14	松江市立八束学園	6/7(金)	6	35	古代人(縄文人)の生活を知ろう～土器作り体験～	土器づくり
15	松江市立持田小学校	6/7(金)	6	57	古代の遺跡・建造物から知る古代の人々の思い	大仏パネル 遺跡見学
16	安来市立飯梨小学校	6/11(火)	6	9	ふるさとの歴史を学ぼう！～古墳探検と紙の石棺式石室づくりに挑戦！～	遺跡見学 ペーパークラフト

番号	学校名	実施日	対象学年	人数	テーマ・主題等	体験活動等
17	浜田市立今福小学校	6/11 (火)	6	10	縄文・弥生人の生活を知ろう ～古代食作り体験～	古代食作り
18	隠岐の島町立五箇小学校	6/13 (木)	6	14	昔の人々生活を体験しよう ～隠岐の島町古墳時代と勾玉作りに挑戦～	勾玉作り
19	邑南町立阿須那小学校	6/21 (金)	5・6	10	古代の邑南町の歴史を学ぼう！ ～金属鏡づくりに挑戦～	金属鏡作り
20	飯南町立頼原小学校	6/25 (火)	6	8	銅鏡作り体験と飯南町の歴史	金属鏡づくり
22	松江市立意東小学校	6/25 (火)	6	37	奈良時代の東出雲町周辺と古代遺跡について	大仏パネル
22	松江市立来待小学校	7/1 (月)	4・5 (たいよう学級 ・さくら学級)	4	古代人の暮らしをみつめる ～土笛づくりを通して見える古代人の祈り～	土笛づくり
23	島根県立緑が丘養護学校	7/11 (木)	中学部 2・3	8	古代の人々の生活に触れよう ～鏡・まが玉作りに挑戦～	金属鏡作り
24	松江市立生馬小学校	7/5 (金)	6	16	聖武天皇と奈良の大仏	大仏パネル
25	島根県立浜田ろう学校	10/10 (木)	3～5	4	火おこし体験	火おこし

合計 25 校 のべ参加児童生徒 589 人

5. 職場体験学習等の受け入れ

学校および希望者からの依頼を受け、インターンシップの学生を受け入れた。

実施日	学校等	実施内容
9月25日～27日	島根大学学生1名・京都橘大学学生1名	研修・現場の見学・活用事業・整理作業等
10月8日～11日	松江農林高等学校生徒1名	研修・現場の見学・活用事業・整理作業等

6. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

当センターが保管している土器や石器を学校等へ貸し出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材としている。

番号	貸出セット名	申請者	使用目的	貸出期間
1	縄文狩猟セット A 縄文採集セット A 縄文土器セット A 弥生食卓セット A 弥生稲作セット A	松江市立宍道小学校	社会科学習用の教材	4月12日～4月19日
2	縄文狩猟セット A 縄文採集セット A 縄文土器セット A 弥生食卓セット A 弥生稲作セット A	松江市立秋鹿小学校	社会科学習用の教材	5月8日～5月15日
3	縄文狩猟セット A 縄文採集セット B 奈良食器セット (出雲)	松江市立古志原小学校	PTA 研修用の教材	1月21日～1月22日

7. 教員のための文化財活用講座

当センターでは県内小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を年1回開催している。

今年度は、島根県立古代出雲歴史博物館と共催で実施した。

開催日：令和元年7月30日（火）10：00～16：00

主催：島根県埋蔵文化財調査センター・島根県立古代出雲歴史博物館

会場：古代出雲歴史博物館

参加者：8名

内容：10:00～11:30 埋蔵文化財調査センター、古代出雲歴史博物館学校連携事業の概要説明

11:30～12:00 ワークショップ（大仏パネル）

13:00～14:30 学芸員による展示解説

14:40～16:00 ワークショップ（石こう銅鐸、低融点と同開珎づくり）

8. 見学等の案内

当センターでは展示室は開庁時に開放し見学受け入れを行っているほか、学校や各種団体等より事前申し込みがあった際は整理作業や収蔵状況等の見学案内、古代体験活動、隣接する古墳の丘古曾志公園の案内を行っている。

埋文センター見学案内

月日	見学者（団体）	見学案内	体験活動	時間	人数
5月8日	山陰中央新報社編集局	所内		30分	1名
7月11日	くにびき学園27期ポレポレ会	展示室		1時間	11名
				合計	12名

9. 職員の講師派遣

各種団体等からの依頼を受け講演会や古代体験学習等への職員派遣を行った。

月日	内容	場所	派遣依頼者	講師
4月13日	風土記の丘教室	島根県立八雲立つ風土記の丘	島根県立八雲立つ風土記の丘所長	廣江耕史
4月26日	紺紙金字教等真鍮資料の携帯型蛍光X線分析装置による分析検討会	奈良大学	奈良大学長	上山晶子
6月7日	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	島根大学	島根大学法文学部長	角田徳幸
6月10日	古代出雲文化フォーラムⅧに関する第2回打ち合わせ	島根大学	島根大学理事・副学長	角田徳幸
6月12日	奥出雲町文化的景観保護推進事業に関する指導助言	野土たたら遺跡及び羽内谷鉢山鉄穴流し本場設備周辺	奥出雲町教育委員会教育長	角田徳幸
7月10日	奥出雲町文化的景観保護推進事業に関する指導助言	羽内谷鉢山鉄穴流し本場設備	奥出雲町教育委員会教育長	角田徳幸
7月23日	菅谷たたら山内総合文化調査協議	吉田健康福祉センター	公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団代表理事	角田徳幸
7月29日	古代出雲文化フォーラムⅧに関する第3回打ち合わせ	島根大学	島根大学理事・副学長	角田徳幸
9月25日	松江市立第1中学校生徒の校外学習	古墳の丘古曾志公園	松江市立第1中学校	守岡正司
9月27日	第17回史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡整備検討委員会・調査指導委員会	多伎文化伝習館・宮本鍛冶山内遺跡	出雲市長	角田徳幸
9月30日～10月3日	山陰研究プロジェクト「既掘考古資料の集成検討及び一括資料群の再検討による山陰地域社会の動態的研究」	東北大学考古学陳列館	島根大学法文学部長	吉松優希

月 日	内 容	場 所	派遣依頼者	講 師
10月11日	菅谷たたら山内総合文化調査報告書検討会	吉田健康福祉センター	公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団代表理事	角田徳幸
10月13日	第120回友史会東京大和考古学講座、東京国立博物館特別展「日本書紀成立1300年―出雲と大和」に関する講演会	東京国立博物館	奈良県立橿原考古学研究所友史会長	吉松優希
10月18日	鑄造技術者初級研修	松江総合文化センター	島根県銑鉄鑄物工業組合理事長	角田徳幸
10月19日	鳥取まいぶん講座	鳥取県埋蔵文化財センター	鳥取県埋蔵文化財センター所長	角田徳幸
11月9日	親子体験勾玉をつくろう～勾玉作りを通して古代を学ぶ～	古志原小学校	松江市立古志原小学校保護者会3年部学年委員長	稲田陽介
11月19日	古墳の丘古曾志公園の史跡ガイド	古墳の丘古曾志公園	JAしまねくにびき女性部松江市部事務局	稲田陽介
11月21日	大田の歴史講座	静間まちづくりセンター	大田市立西部公民館長	角田徳幸
11月21日	島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会	松江市役所	島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会長	内田律雄
11月30日～12月2日	九州北西部の黒曜石原産地踏査	長崎県佐世保市牛ノ岳ほか	長崎大学人文社会文化科学域准教授	稲田陽介
12月6日	地域博物館へのいざない	島根大学	島根大学長	角田徳幸
12月7日	未来への文化発信事業 歴史講演会	とうほう・みんなの文化センター	公益財団法人福島県文化振興財団	角田徳幸
12月10日	まつえ市民大学	市民活動センター	まつえ市民大学長	吉松優希
1月8日	浜田市指定文化財候補物件調査	金城町の遺跡現地及び各資料展示施設	浜田市教育委員会教育長	松山智弘
1月30日	第2回出雲市文化財保護審議会	出雲弥生の森博物館	出雲市長	角田徳幸
2月15日	荒神谷博物館講演会	荒神谷博物館	荒神谷博物館長	中川 寧
2月18日	第1回菅谷たたら山内保存整備審議会	「菅谷たたら山内」及び吉田健康福祉センター	雲南市教育委員会教育長	角田徳幸
2月29日	古代出雲文化フォーラムⅧ(中止)	くにびきメッセ	島根大学理事・副学長	角田徳幸
3月7日	シンポジウム「日本列島のなかの腰岳黒曜石原産地」(中止)	伊万里市民図書館	伊万里市長	稲田陽介

10. その他

(1) やだのまつりへの参加

主 催：朝酌矢田にぎわいづくり実行委員会
期 日：令和元年10月27日(日)
会 場：矢田渡船 朝酌渡船場周辺
内 容：現場説明会、火おこし体験、勾玉作り

(2) 来島地区文化祭への参加

主 催：来島地区文化祭実行委員会
期 日：令和元年10月27日(日)
会 場：来島基幹集落センター
内 容：発掘調査速報展示、缶バッジづくり

(3) 大庭地区文化祭への参加

主 催：大庭地区文化祭実行委員会
期 日：令和元年10月27日(日)
会 場：大庭公民館
内 容：発掘調査速報展示

(4) 島根県立古墳の丘古曾志公園「古曾志公園春まつり」への協力(中止)

主 催：株式会社M Iしまね(公園指定管理者)
期 日：令和2年3月21日(土)9:30～12:30
会 場：古墳の丘古曾志公園
内 容：勾玉づくり指導

11. 資料の貸出・調査等

(1) 資料調査（平成31年1月7日～令和元年12月27日までに申請があったもの）

研究や展示借用の事前調査など、資料の詳細観察に関して応じている。

【平成31年1～3月】

番号	資料名	点数	申請者	月 日
1	西川津遺跡出土木材ほか	46	古代文化センター職員	1月15日
2	神原Ⅱ遺跡出土縄文土器ほか	53	荒神谷博物館職員	1月22日
3	古屋敷遺跡出土縄文土器	219	埋蔵文化財調査センター職員	1月25日～4月4日
4	西川津遺跡出土土器ほか	18	島根大学准教授	1月28日
5	古屋敷遺跡出土縄文土器	143	埋蔵文化財調査センター職員	2月1日～4月4日
6	半坂古墓群出土石塔ほか	68	埋蔵文化財調査センター職員	2月4日～2月25日
7	古屋敷遺跡出土縄文土器	261	埋蔵文化財調査センター職員	2月7日～4月4日
8	古屋敷遺跡出土縄文土器	117	埋蔵文化財調査センター職員	2月12日～4月4日
9	出雲国府跡出土遺物ほか	一括	八雲立つ風土記の丘職員	2月13日
10	浜寄地方遺跡出土土器ほか	62	埋蔵文化財調査センター職員	2月18日～3月31日
11	東百塚山20号墓出土土器ほか	45	古代文化センター職員	2月25日～3月1日
12	穴神横穴墓群出土玉ほか	108	古代文化センター職員	2月25日～3月1日
13	熊谷遺跡出土鏡ほか	6	古代文化センター職員	2月25日～3月1日
14	原田遺跡出土漆付着土器ほか	71	古代文化センター職員	2月25日～3月1日
15	西川津遺跡出土弥生土器	24	古代文化センター職員	2月25日～3月1日
16	古曾志大谷1号出土埴輪	1	古代文化センター職員	2月25日～3月1日
17	上野Ⅱ遺跡出土鉄器ほか	80	古代文化センター職員	3月4日
18	神原Ⅱ遺跡出土鉄床	1	古代文化センター職員	3月4日
19	西川津遺跡出土弥生土器ほか	229	古代文化センター職員	3月23日～3月29日
20	古屋敷遺跡出土縄文土器	295	埋蔵文化財調査センター職員	2月20日～5月10日
21	富田川河床遺跡出土土製品	7	埋蔵文化財調査センター職員	2月20日～3月20日
22	出雲国府跡出土遺物ほか（恩田資料）	2箱	埋蔵文化財調査センター職員	2月15日～3月20日
23	高広Ⅳ区1号穴出土大刀ほか	20	大野城市心のふるさと館長	3月1日
24	タテチョウ遺跡出土土笛ほか	26	古代出雲歴史博物館職員	3月11日
25	菅原Ⅱ遺跡出土石帯ほか	14	個人	3月20日～3月27日
26	青木遺跡出土土師器ほか	3	古代文化センター職員	3月8日
27	東船遺跡出土土器ほか	17	古代出雲歴史博物館職員	3月28日～3月29日

【平成31年4月～令和元年12月27日まで】

番号	資料名	点数	申請者	月 日
1	出雲国府跡出土瓦ほか	5	埋蔵文化財調査センター職員	4月3日～
2	東百塚山20号墓出土土器ほか	45	埋蔵文化財調査センター職員	4月18日
3	山持遺跡出土土器ほか	40	出雲弥生の森博物館職員	4月22日
4	竹ヶ崎遺跡出土石製品ほか	5	福岡市埋蔵文化財課職員	4月24日～4月25日
5	古八幡付近遺跡出土土器	1	文化財課職員	4月24日～25日
6	松林寺遺跡出土弥生土器ほか	28	埋蔵文化財調査センター職員	4月24日～26日
7	古屋敷遺跡出土土器ほか	104	個人	5月15日～5月16日
8	安養寺古墳群出土弥生土器 ほか	105	同志社大学考古学研究室	5月14日
9	中野清水遺跡 土師器等	12	荒神谷博物館	5月13日～5月15日
10	四王寺跡出土資料	2	埋蔵文化財調査センター職員	5月20日～
11	平ノ前遺跡出土土器ほか	6	古代文化センター	5月23日～
12	西川津遺跡 土笛等	7	荒神谷博物館	5月28日

番号	資料名	点数	申請者	月 日
13	古志本郷遺跡出土土器ほか	26	東京国立博物館職員	5月31日
14	高浜Ⅰ遺跡 将棋盤ほか	3	出雲弥生の森博物館	6月10日
15	富田川河床遺跡埴塙ほか	20	埋蔵文化財調査センター職員	6月10日～
16	原田遺跡出土土器ほか	217	埋蔵文化財調査センター職員	6月15日～
17	山持遺跡出土硯など	5	國學院大學客員教授	6月20日・21日
18	古屋敷遺跡出土弥生土器ほか	243	古代文化センター職員	6月21日～26日
19	布田遺跡出土土器	193	山口大学准教授	6月25～27日
20	西川津遺跡出土土器	2	古代文化センター職員	6月25日～6月28日
21	布志名焼窯跡群出土陶器ほか	25	出雲玉作資料館職員	6月26日
22	出雲国府跡出土土器ほか	1箱	埋蔵文化財調査センター職員	6月27日～
23	布田遺跡弥生土器ほか	142	古代文化センター職員	7月8日～
24	三田谷Ⅰ遺跡出土石塔ほか	4	島根大学学生	7月10日
25	古屋敷遺跡出土土器ほか	13	古代文化センター職員	7月10日～
26	青木遺跡出土木筒 ほか	25	専修大学	7月10日
27	神主屋敷所在遺跡出土陶磁器ほか	33	古代出雲歴史博物館職員	8月1日
28	三田谷遺跡出土縄文土器ほか	113	古代文化センター職員	8月5日～7日
29	伊甘神社脇遺跡出土土器ほか	30箱	埋蔵文化財調査センター職員	8月15日
30	原田遺跡出土大刀ほか	5	埋蔵文化財調査センター職員	8月21日
31	久本奥瓦窯跡出土鴟尾	17	出雲弥生の森博物館職員	8月26日・27日
32	浅柄北古墳出土大刀ほか	22	埋蔵文化財調査センター職員	8月28日
33	竹ヶ崎遺跡出土石製品ほか	5	福岡市埋蔵文化財課職員	9月4日～6日
34	古志本郷遺跡出土土器ほか	211	京都大学学生	9月9日～20日
35	社日古墳出土石塔ほか	41	島根大学学生	9月12日～13日
36	西川津遺跡出土土器	186	古代文化センター職員	9月17日
37	富田川河床遺跡出土埴塙ほか	48	埋蔵文化財調査センター職員	9月17日～
38	北原本郷遺跡出土鉄鏃ほか	6	島根大学総合博物館教授	9月19日
39	富田川河床遺跡出土錠前	1	埋蔵文化財調査センター職員	9月25日～
40	門生黒谷Ⅰ遺跡出土土器ほか	304	古代文化センター職員	10月1日
41	西川津遺跡出土土器	150	古代文化センター職員	10月7日
42	三田谷Ⅰ遺跡出土土器ほか	233	出雲弥生の森博物館職員	10月11日
43	古志本郷遺跡出土土器ほか	218	京都大学学生	10月15日～18日
44	原田遺跡出土土器	327	明治大学黒曜石研究センター職員	10月16日～18日
45	蔵小路西遺跡陶磁器ほか	110	荒神谷博物館職員	10月21日
46	穴神横穴墓群出土ガラス玉類ほか	137	古代文化センター職員	10月21日
47	岩屋6号墳出土頭蓋骨ほか	12	出雲弥生の森博物館	10月29日
48	山持遺跡出土ガラス玉類ほか	12	出雲弥生の森博物館	10月29日
49	安養寺墳墓群出土土器ほか	82	同志社大学考古学研究室	10月29日・30日
50	出雲国府跡出土瓦ほか	14	埋蔵文化財調査センター職員	10月30日～11月1日
51	西川津遺跡出土土器	18箱	古代文化センター職員	11月6日～8日
52	竹ヶ崎遺跡出土石製品ほか	4	福岡市埋蔵文化財課職員	11月1日
53	上塩治横穴墓群出土土器ほか	80	出雲弥生の森博物館職員	11月13日
54	京田遺跡出土土器ほか	115	出雲弥生の森博物館	11月14日
55	史跡出雲国府跡出土土器	67	埋蔵文化財調査センター職員	11月18日
56	古志本郷遺跡出土土器ほか	221	京都大学学生	11月18日～21日
57	大角山遺跡出土勾玉ほか	36	岡山大学学生	11月20日～22日
58	黒田畦字土居・字神主屋敷所在遺跡出土土器ほか	10	古代出雲歴史博物館職員	11月21日
59	原田遺跡出土土器ほか	44	古代文化センター職員	11月25日～
60	安養寺墳墓群出土土器ほか	82	同志社大学学生	11月27日・28日
61	西川津遺跡出土土器	1	古代文化センター職員	11月29日

II 埋蔵文化財活用事業

番号	資料名	点数	申請者	月 日
62	沖手遺跡出土土器ほか	155	古代文化センター職員	12月2日～6日
63	団原遺跡出土土器	2	広島大学学生	12月9日
64	山ノ神遺跡出土土器ほか	97	古代文化センター職員	12月11日～
65	上塩冶横穴墓群出土土器ほか	86	出雲弥生の森博物館職員	12月11日
66	史跡出雲国府跡出土土器	17	大阪歴史博物館職員	12月16日
67	狩捨古墳出土鏡ほか	4	宮内庁書陵部陵墓課	12月17日
68	富田川河床遺跡出土金属器ほか	29	古代出雲歴史博物館職員	12月23日
69	古屋敷遺跡出土木製品ほか	7	埋蔵文化財調査センター職員	12月23日

(2) 写真資料等（平成31年1月7日～令和元年12月27日までに申請があったもの）

単行本、雑誌、展示図録等の写真の掲載に応じている。

【平成31年1月～3月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	西川津遺跡(海崎地区)イノシシ下顎骨の出土状況	1	古代文化センター職員	新聞掲載	1月7日
2	石屋古墳出土埴輪	1	松江市歴史まちづくり部史料編纂課	看板掲載	1月9日
3	荒神谷遺跡出土銅剣および銅鐸・銅矛出土状況	2	出西コミュニティセンター	書籍掲載	1月10日
4	上塩冶横穴墓群出土金糸	1	NHK 大阪放送局	書籍掲載	1月17日
5	高浜I遺跡・中野美保遺跡・中野清水遺跡	22	川跡コミュニティセンター	書籍・ブログ掲載	1月21日
6	西百塚山古墳	1	株式会社ジャパン通信情報センター	書籍掲載	1月22日
7	岩屋5号墳3号館箱式石棺ほか	3	個人	書籍掲載	1月30日
8	大塚遺跡出土遺物ほか	5	四絡コミュニティセンター	書籍掲載	2月4日
9	中原遺跡製鉄炉地下構造ほか	4	埋蔵文化財調査センター職員	書籍掲載	2月4日
10	古志本郷遺跡出土遺物ほか	5	出雲市	パネル展示	2月12日
11	東百塚山古墳群ほか	8	文化財課職員	パンフレット掲載	2月5日
12	古曾志大谷I号墳	1	松江市歴史まちづくり部史料編纂課	書籍掲載	2月18日
13	浜寄遺跡ほか	6	益田市教育委員会	報告書掲載	2月20日
14	青木遺跡出土木簡赤外線	2	奈良文化財研究所	書籍掲載	3月18日
15	市井深田遺跡かまど	1	山陰中央新報社	新聞掲載	3月20日
16	岡田山I号墳三葉環頭大刀画像	1	大野心のふるさと館	図録掲載	3月20日
17	荒神谷遺跡銅矛および銅鐸出土状況	1	株式会社世界思想社教学社	書籍掲載	3月22日
18	出雲国府跡柱穴列ほか	10	八雲立つ風土記の丘	パネル展示	3月22日
19	荒神谷遺跡銅剣出土状況画像	1	個人	新聞掲載	3月28日
20	史跡出雲国府跡発掘調査	1	埋蔵文化財調査センター職員	書籍掲載	3月29日

【平成31年4月～令和元年12月27日まで】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
1	三田谷I遺跡出土木簡	1	古代文化センター	新聞掲載	4月2日
2	荒神谷遺跡 出土銅剣、銅鐸、銅矛画像	3	有限会社アート・エフ	書籍掲載	4月11日
3	森原神田川遺跡 第1遺構面 水田跡1ほか	2	埋蔵文化財調査センター職員	書籍掲載	4月11日
4	荒神谷遺跡 銅剣出土状況ほか	9	島根大学総合博物館	講座資料	4月12日
5	荒神谷遺跡出土品	1	荒神谷博物館	新聞掲載	4月15日
6	魚見塚古墳写真(遠景)ほか	1	株式会社臨川書店	書籍掲載	4月22日
7	荒神谷遺跡出土銅剣	1	有限会社三猿舎	書籍掲載	4月24日
8	荒神谷遺跡 銅剣の茎	1	荒神谷博物館	新聞掲載	4月26日
9	シコノ谷遺跡 サメの歯ほか	3	株式会社はる制作室	書籍掲載	4月26日
10	出雲国府跡の発掘現場	1	山陰中央新報社	新聞掲載	5月10日
11	荒神谷遺跡 銅剣の出土状況	1	荒神谷博物館	新聞掲載	5月14日

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出日
12	姫原西遺跡 井戸画像ほか	9	出雲市	パネル展示	5月14日
13	今佐屋山遺跡 製鉄遺構ほか	31	古代出雲歴史博物館	企画展	5月14日
14	荒神谷遺跡 銅剣の取り上げ作業	1	荒神谷博物館	新聞掲載	5月16日
15	荒神谷遺跡 銅剣出土状況ほか	2	株式会社エッジュ	TV放送	5月16日
16	シコノ谷遺跡 サメの歯ほか	1	海とくらしの史料館	パネル展示	5月21日
17	荒神谷遺跡 銅剣出土状況	1	荒神谷博物館	新聞掲載	5月24日
18	荒神谷遺跡 銅剣の茎に刻まれた「×」印	1	荒神谷博物館	新聞掲載	5月29日
19	白石大谷Ⅰ遺跡 全景ほか	3	埋蔵文化財調査センター職員	子供塾	6月5日
20	史跡出雲国府跡 空中写真	1	古代文化センター職員	新聞掲載	6月5日
21	山持遺跡 土層写真ほか	2	個人	書籍掲載	6月5日
22	山持遺跡 SB01 柱ほか	3	出雲市	パネル展示	6月10日
23	青木遺跡 神像ほか	18	出雲市	企画展	6月10日
24	山持遺跡 土器群ほか	2	古代文化センター職員	映像作成	6月10日
25	シコノ谷遺跡 調査区全景ほか	2	山陰中央新報社	新聞掲載	6月11日
26	荒神谷遺跡 地下レーダー地下探査状況	1	荒神谷博物館	新聞掲載	6月14日
27	荒神谷遺跡 銅剣・銅矛写真	2	株式会社育鵬社	書籍掲載	6月14日
28	荒神谷遺跡 銅鐸6個・銅矛16本出土状況	1	荒神谷博物館	新聞掲載	6月17日
29	西川津遺跡 土笛写真ほか	3	荒神谷博物館	展覧会	6月20日
30	荒神谷遺跡 銅剣・銅矛の出土状況(南から)	1	荒神谷博物館	新聞掲載	6月24日
31	荒神谷遺跡 銅矛の鋒部側面	1	荒神谷博物館	配布資料	6月28日
32	荒神谷遺跡 発見直後の銅鐸2個出土状況(南から)	1	荒神谷博物館	新聞掲載	7月1日
33	荒神谷遺跡 銅剣出土状況ほか	3	一般社団法人国際文字文化検定協会	書籍掲載	7月3日
34	西川津遺跡 弥生土器ほか	4	古代文化センター	新聞掲載	7月3日
35	荒神谷遺跡 発掘状況	4	出雲市	展覧会	7月3日
36	荒神谷遺跡 銅剣ほか	9	有限会社批評社	書籍掲載	7月10日
37	荒神谷遺跡 荒神谷1号鐸(A面)	1	荒神谷博物館	新聞掲載	7月10日
38	荒神谷遺跡 荒神谷銅矛	1	荒神谷博物館	新聞掲載	7月25日
39	荒神谷遺跡 銅鐸・銅矛集合	1	株式会社悠工房	書籍掲載	8月2日
40	御崎谷遺跡・大床遺跡 空撮写真	3	古代文化センター	新聞掲載	8月5日
41	薄井原古墳 非掲載写真	一式	埋蔵文化財調査センター職員	学会発表	8月7日
42	原田遺跡 旧石器写真ほか	2	山陰中央新報社	新聞掲載	8月8日
43	平ノ前遺跡 遺跡全景ほか	26	八雲立つ風土記の丘	企画展	8月22日
44	普源田砦跡 航空写真ほか	7	鳥取県埋蔵文化財センター	企画展	9月2日
45	山持遺跡出土 楽浪土器ほか	2	島根大学	資料掲載	9月10日
46	青木遺跡 神像ほか	3	古代文化センター	講座資料	9月17日
47	史跡出雲国府跡 漆紙文書ほか	1	株式会社本作り空 Sola	書籍掲載	9月25日
48	家の後Ⅱ遺跡 住居址写真ほか	3	イマジニア株式会社	講義資料	10月10日
49	山持遺跡出土 楽浪土器ほか	1	株式会社 新泉社	書籍掲載	10月18日
50	蔵小路西遺跡 航空写真ほか		荒神谷博物館	企画展	11月1日
51	京田遺跡 SK05 検出状況 ほか	8	出雲市	企画展	10月31日
52	山持遺跡 SK24 出土遺物ほか	5	出雲市	企画展	11月15日
53	古曾志大谷Ⅰ号墳 航空写真	1	風土記を訪ねる会	チラシ掲載	11月28日
54	蔵小路西遺跡 火処写真ほか	20	荒神谷博物館	配布資料	11月28日
55	御崎谷遺跡・大床遺跡 全景ほか	2	古代文化センター	新聞掲載	12月16日

II 埋蔵文化財活用事業

(3) 資料貸出（平成31年1月7日～令和元年12月27日までに申請があったもの）

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

【平成31年1～3月】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	上久々茂土居跡出土土師器ほか	75	古代文化センター職員	客員検討会	1月30日～3月8日
2	貝谷遺跡出土縄文土器ほか	53	荒神谷博物館	企画展	2月13日～7月9日
3	布田遺跡出土玉関連遺物ほか	889	古代出雲歴史民俗博物館	企画展	2月20日～7月31日
4	沖手遺跡出土土師器ほか	5	古代文化センター職員	客員検討会	2月25日～3月8日
5	シコノ谷遺跡出土土器ほか	156	八雲立つ風土記の丘	企画展	3月12日～5月31日
6	三田谷Ⅰ遺跡出土木簡ほか	4	八雲立つ風土記の丘	企画展	3月12日～5月31日

【平成31年4月～令和元年12月27日まで】

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
1	荒神谷遺跡出土土器ほか	13	荒神谷博物館	常設展	4月1日～3月31日
2	大東高校グラウンド遺跡出土玉未製品	4	松江市立出雲玉作資料館	常設展	4月1日～3月31日
3	原田遺跡出土縄文土器ほか	17	国立歴史民俗博物館	常設展	4月1日～3月31日
4	板屋Ⅲ遺跡出土石器	3	飯南町大しめなわ創作館	常設展	4月1日～3月31日
5	古志本郷遺跡出土土器ほか	271	出雲弥生の森博物館	常設展	4月1日～3月31日
6	板屋Ⅲ遺跡出土縄文土器ほか	21	島根県立三瓶自然館	常設展	4月1日～3月31日
7	石見銀山遺跡出土土壁	1	大田市教育委員会	常設展	4月1日～3月31日
8	前立山遺跡出土土器ほか	221	吉賀町教育委員会	常設展	4月1日～3月31日
9	熊谷2号墳出土勾玉ほか	18	古代出雲歴史博物館	常設展	4月2日～7月12日
10	西川津遺跡出土弥生土器	3	九州国立博物館	交流展	4月11日～9月6日
11	高広遺跡4区号穴出土大刀ほか	20	大野城心のふるさと館	特別展	4月16日～7月8日
12	前立山遺跡出土土器ほか	2	安来市教育委員会教育長	常設展	4月1日～3月31日
13	林原遺跡縄文土器ほか	18	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展	5月22日～9月6日
14	奈良時代食器セット(出雲)・三田谷Ⅰ遺跡古銭	4	出雲市立みなみ小学校	子ども塾	5月24日～29日
15	古曾志大谷Ⅰ号墳埴輪ほか	18	松江市立古江小学校	子ども塾	5月29日～30日
16	奈良時代食器セット(出雲)	1	雲南市立阿用小学校	子ども塾	5月31日～6月3日
17	出雲国府跡出土礎石	1	八雲立つ風土記の丘	常設展	6月1日～3月31日
18	上野Ⅱ遺跡出土鉄器ほか	94	古代出雲歴史博物館	企画展	6月5日～9月30日
19	縄文土器セット	2	飯南町立赤名小学校	子ども塾	6月5日～7日
20	東前田遺跡須恵器蓋ほか	14	松江市立持田小学校	子ども塾	6月6日～7日
21	縄文土器セット・弥生食卓セットほか	28	今福小学校	子ども塾	6月10日～12日
22	奈良時代食器セット(石見)・勾玉セット(完成品)	2	邑南町立阿須那小学校	子ども塾	6月20日～25日
23	奈良時代セットほか	21	松江市立意東小学校	子ども塾	6月24日～25日
24	縄文土器セット	2	飯南町立頼原小学校	子ども塾	6月24日～26日
25	弥生食卓セット、西川津遺跡土製品ほか	10	松江市立来待小学校	子ども塾	6月28日～7月1日
26	西川津遺跡土笛	7	荒神谷博物館	特別展	7月3日～9月13日
27	高浜Ⅰ遺跡出土将棋盤ほか	3	出雲弥生の森博物館	企画展	7月3日～10月25日
28	奈良時代食卓セット	1	松江市立生馬小学校	子ども塾	7月4日～5日
29	古曾志大谷Ⅰ号墳埴輪ほか	8	県立緑ヶ丘養護学校	子ども塾	7月10日
30	東百塚山64号墳出土土器ほか	13	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展	7月11日～9月30日
31	縄文狩猟セットAほか	3	古代出雲歴史博物館	教員のための	7月30日
32	田中谷遺跡出土土器ほか	60	八雲立つ風土記の丘	企画展	9月24日～12月31日
33	静間城出土陶磁器ほか	12	鳥取県埋蔵文化財センター	企画展	10月1日～11月15日
34	弥生食卓セットCほか	2	島根県立浜田ろう学校	子ども塾	10月7日～11日
35	弥生食卓セットほか	2	県立浜田ろう学校	子ども塾	10月10日
36	蔵小路西遺跡陶磁器ほか	103	荒神谷博物館	企画展	11月1日～3月16日

番号	資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
37	原田遺跡出土石器	1	長崎県埋蔵文化財調査センター	基礎研究	12月1日～3月1日
38	京田遺跡出土土器ほか	33	出雲弥生の森博物館	ミニ企画展	12月4日～2月7日
39	古志本郷遺跡出土土器ほか	17	東京国立博物館	特別展	12月9日～3月31日

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

番号	物品名(点数)	貸出先	使用目的	貸出期間
1	レベルほか	八雲立つ風土記の丘	測量調査	4月26日～2月28日(レベルは5月7日まで)
2	メタルチェッカーほか	出雲市文化財課	鉄滓の調査	6月18日
3	トータルステーションほか	埋文センター調査第一課	測量調査	7月19日～7月22日
4	トータルステーションほか	埋文センター調査第一課	測量調査	8月2日～8月5日

(5) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会などの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的にホームページを開設・運用してる。

2019年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アクセス数	1,615	1,430	1,523	1,831	1,990	2,201	2,158	2,177	2,327	2,052	1,813	3,257	24,374

Ⅲ 研究事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎調査研究事業」、基礎研究「風土記調査研究事業」及びテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

調査事業名	細事業	当センターの担当者
考古資料基礎調査研究事業：墓制調査	①大草丘陵古墳群調査 ②前期古墳の基礎的研究	角田徳幸、大庭俊次、守岡正司、深田 浩、 間野大丞、稲田陽介、吉松優希、岩崎孝平
考古資料基礎調査研究事業：生産遺跡調査	①県内鑄造関係遺跡・遺物の集成 ②古代窯業生産調査 ③石器・石造物生産調査	角田徳幸、稲田陽介、上山晶子
考古資料基礎調査研究事業：基礎資料収集調査	①西川津遺跡の出土品再整理	守岡正司、深田浩、稲田陽介、岩崎孝平
テーマ研究	たたら製鉄の成立過程	角田徳幸、宮本正保
	中世石見における在地領主の動向	廣江耕史、守岡正司
	山陰弥生文化の形成過程	中川 寧、今福拓哉
	山陰における古代交通の研究	久保田一郎
	古代出雲と吉備の交流	伊藤 智、稲田陽介、岩崎孝平、真木大空、 上山晶子
	近世近代の交通と地域社会経済	東森 晋

IV 研修事業

1. 埋蔵文化財基礎研修

島根県及び県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は、募集に対し応募のあった下記のとおり実施した。

日 時：平成 31 年 4 月 15 日（月）及び同年 4 月 19 日（金）

場 所：島根県埋蔵文化財調査センターいにしえ学習館体験学習室ほか

参 加：松江市教育委員会 1 名、江津市教育委員会 2 名、島根県埋蔵文化財調査センター職員 2 名合計 5 名

講 師：島根県教育庁文化財課職員及び島根県埋蔵文化財調査センター職員

内 容：(1) 島根県埋蔵文化財調査センター所長講話

(2) 文化財行政の歩みと文化財行政の現状

(3) 埋蔵文化財保護行政の事務手続き（含む埋蔵文化財発掘調査等にかかる島根県基準）

(4) 発掘調査の計画と安全管理

(10) 発掘調査に関連した諸科学

(12) 文化財写真概論・実習

(13) 報告書の作成と収蔵・活用

※参加者の学歴、調査歴など経験度合いを勘案して、時代概説及び遺構・遺物の実測概論・実習については割愛して実施した。なお、現場実習及び実技講座については、今年度は実施していない。

2. 埋蔵文化財専門研修

島根県及び県内市町村埋蔵文化財担当者を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な専門知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

【第 1 回】

日 時：令和元年 7 月 1 日（月）10：30～12：00

場 所：島根県埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：60 名

テーマ：遺跡出土人骨・獣骨の基礎知識と現場での取り扱いについて

講演「遺跡出土人骨・獣骨の基礎知識と現場での取り扱いについて」

山田康弘氏（国立歴史民俗博物館研究部考古研究系教授 総合研究大学院大学日本歴史専攻専攻長）

【第 2 回】

日 時：令和元年 9 月 20 日（金）13：30～16：10

場 所：島根県埋蔵文化財調査センター研修室

IV 研修事業

参加者：45名

テーマ：(1) 弥生時代の日韓交流・交渉について

講演「弥生時代の日韓交流・交渉 —墓制・土器・磨製石剣—」

平郡達哉氏（国立大学法人島根大学法文学部准教授）

(2) 発掘調査現場の安全管理について

講演「発掘調査現場における安全研修 —災害事例に見る安全—」

増田隆一氏（建設業労働災害防止協会島根県支部次長）

【第3回】

日時：令和2年1月31日（金） 13：30～16：00

場所：島根県埋蔵文化財調査センター研修室

参加：37名

テーマ：(1) 埋蔵文化財調査で必要となる人権上の配慮

講演「埋蔵文化財調査における人権上の配慮について」

今岡 操（島根県環境生活部人権同和対策課調整監）

(2) 奈良文化財研究所文化財担当者専門研修報告

報告①「堆積・地質学の基礎課程」

真木大空（島根県埋蔵文化財調査センター主事）

報告②「保存科学Ⅱ（有機質遺物）課程」

稲田陽介（島根県埋蔵文化財調査センター文化財保護主任）

【第4回】

（計画していたが中止）

V 会議・講習会等参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、中国・四国・九州ブロック会議及び研修会に参加した。

- (1) 総会 令和元年6月6日～6月7日 福井県国際交流会館
- (2) 中国・四国・九州ブロック会議 令和元年11月21日～22日 松浦市立埋蔵文化財センター
ほか 欠席
- (3) 研修会 令和元年10月17日～18日 福岡市埋蔵文化財センター 欠席

文化庁が主催する埋蔵文化財担当職員等講習会に1名が参加した。

第2回講習会 令和2年2月5日～7日 愛媛県松山市にぎたつ会館ほか

VI 発掘調査事業

受託事業

令和元年度は5事業7遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は国直轄事業の一般国道9号改築事業（三隅益田道路）及び江の川河川改修事業、大橋川河川改修事業、県事業の国道432号大庭バイパス建設事業、民間大規模開発事業である。

三隅益田道路予定地内では、益田市木部町の国ヶ峠遺跡から、中世以降場所を変えながら現在まで続く道路状遺構、中世の集石遺構、近世以降の祠跡を確認した。江の川河川改修予定地内では、江津市松川町の森原下ノ原遺跡から、中世・近世の河道跡のほか、中世の耕作跡、鍛冶遺構の他、縄文時代中期前半から近世までの土器、建物跡等を数多く確認した。特に、古墳時代前期後半の絵画土器や盤龍鏡と考えられる鏡片は注目される。大橋川改修予定地内では、松江市朝酌町の若宮谷遺跡と朝酌矢田Ⅱ遺跡を調査した。前者から中世の貝塚や建物跡が、後者からは古墳の周溝等が確認された。両遺跡から縄文時代から中世までの遺物を確認した。国道432号大庭バイパス建設予定地では、松江市大庭町下黒田Ⅱ遺跡から室町時代から近世の屋敷に伴う溝跡や井戸跡を確認した。民間大規模開発予定地では、飯石郡飯南町の猪子原遺跡と上ノ谷遺跡を調査した。前者からは古墳時代中期後半の古墳を、後者からは古墳時代後期の集落跡を確認した。

学術調査

今年度の史跡出雲国府跡の発掘調査は国庁とその周辺の調査を行い、国庁の正殿の南東側に位置する脇殿の所在確認を行い、南北に軸をもつ建物跡を2棟確認した。大庭・山代古墳群に位置し、山代方墳の南東に位置する山代原古墳の調査を行い、墳端の一部や墳丘構造が判明した。

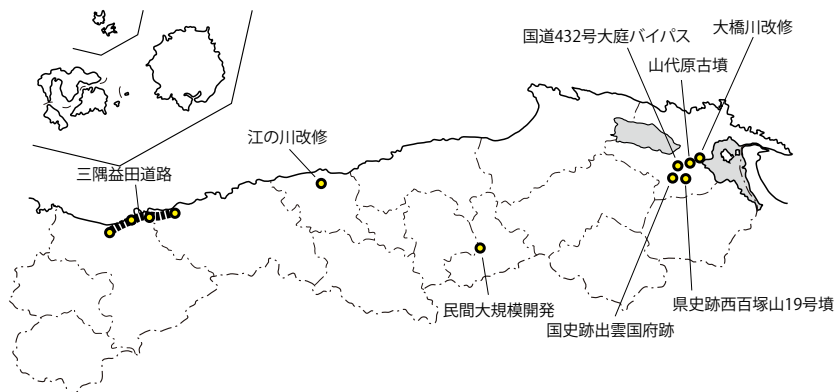
また、墓制調査では平成30年度から継続調査している松江市大草町の西百塚山19号墳を調査し、規模や墳丘構築状況を確認できる成果が得られた。

分布調査

今年度は、一般国道9号（出雲湖陵道路・湖陵多伎道路・静間仁摩道路・三隅益田道路）改築事業、江の川河川改修事業、民間大規模開発の予定地内の分布調査を実施した。

報告書作成

今年度は、出雲湖陵道路の中上Ⅱ遺跡、京田遺跡、大田静間道路の桜田遺跡、尾ノ上遺跡、三隅益田道路の蔵廻り遺跡、榎坂窯跡、嶺口古墓、上古市遺跡、国道432号大庭バイパスの川原宮Ⅲ遺跡の調査報告書を刊行した。



令和元年度 埋蔵文化財調査センター発掘調査箇所位置図

1. 一級河川江の川直轄河川改修事業（森原地区）に伴う発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省浜田河川国道事務所から委託を受けて平成 29 年度から実施している。今年度は森原下ノ原遺跡（1・3 区）の調査を行った。調査期間は令和元年 6 月 3 日から令和 2 年 2 月 7 日、調査対象面積は 3,600㎡、調査体制は調査員 2 名、嘱託職員 1 名、調査補助員 2 名で実施した。



森原下ノ原遺跡（1・3 区）

調査の概要 本遺跡は江津市松川町八神に所在

森原下ノ原遺跡位置図

し、江の川下流の右岸に開けた平野部南西隅に位置する。標高は約 8 m で、調査前は畑地として利用されていた。遺跡北側の低地には、古墳時代から古代にかけての遺物が大量に出土した森原神田川遺跡が所在する。また、周辺には、八神上ノ原遺跡や八神上ノ原Ⅱ遺跡などの集落遺跡や、千本崎城跡、松山城跡などの中世の城跡、八神鉦跡や佃谷鉦跡などの近世・近代の鉦跡が存在する。

遺構等の概要 遺跡の最も北側、自然堤防の先端に位置する 1 区では、現代耕作土の下層には、江の川の氾濫で運ばれた砂が厚く堆積していた。標高約 4 m、地表下約 4 m まで遺物包含層を確認し、縄文時代中期から江戸時代前期にかけての遺物がコンテナ約 150 箱出土した。また、標高約 5～7 m まで複数の遺構面を確認し、竪穴建物跡や礎石建物跡等遺構約 400 基を検出した。

1 区の約 40 m 南東に位置する 3 区では、標高約 4 m、地表下約 4 m まで遺物包含層を確認し、弥生時代中期から江戸時代前期にかけての遺物がコンテナ約 10 箱出土した。調査区南側で東西方向の江戸時代の河川跡、西側で南北方向の中世初め頃の江の川氾濫跡を検出した。東側の一部は河川の浸食を免れており、弥生時代から古墳時代にかけての遺物包含層、弥生時代と考えられる遺構面を確認し、柱穴約 30 基を検出した。

まとめ 今回の調査では、5,000 年以上にも渡る、多様な遺構・遺物が発見された。その中には、山陽地方や九州地方、さらに朝鮮半島や中国に関係する貴重な遺物も含まれている。また、弥生時代の石斧製作や、室町時代の鍛冶工房、江戸時代の畑など、生産に関わる遺構・遺物も多数確認された、江の川沿岸に暮らす人々の生活の変遷が分かる、重要な発掘調査となった。（東森 晋）



青銅鏡破片



古墳時代前期の絵画土器出土状況

2. 一般国道9号（三隅益田道路）改築工事に伴う発掘調査

調査概要 この調査は浜田河川国道事務所から委託を受けて実施して平成27年度から実施している。今年度は、益田市西平原町・木部町にまたがる国ヶ峠遺跡の調査を行った。



国ヶ峠遺跡位置図

国ヶ峠遺跡

遺跡の概要 国ヶ峠遺跡は益田市北部の西平原町・木部町境界に位置する。日本海へ向かって西にのびる丘陵の鞍部にあ

たる。この鞍部は幅約15mの平坦面が広がっており、鞍部の西端には西平原・木部村を結ぶ峠道が通っていた。平成27年度の試掘調査により本調査対象となった。現地調査期間は令和2年10月1日～12月25日、調査面積は824㎡、調査体制は調査員1名、嘱託員1名、調査補助員1名である。

遺構の概要 江戸時代の地蔵堂、中世の石積み遺構、道路跡等を確認している。地蔵堂は現存する里道沿いに建つ。奥の床面には地蔵尊を安置した台座が残り、奥には径1～2cmの黒い玉砂利が5cmの厚さで敷き詰められていた。遺構及び周辺の出土遺物から、江戸時代に構築されたと考えられる。調査区北東の斜面部では中世初期の石積み遺構が検出された。土坑等の地下施設は確認されなかった。土師質土器碗、須恵器壺等が出土しており、構築年代は平安時代後期と推定される。調査区南寄りでは、大量の土砂の下層に谷地形が埋没しているのが確認された。この谷地形の東斜面から、北へのびる土坑列が検出された。谷底に近い位置で検出され、北へ行くにしたがって谷筋から離れ、標高が高くなる。道路遺構の基礎部分と考えられる。路面に相当する上層部は失われている。土坑内部から遺物は出土していないが、土坑を被覆する旧表土の年代が14～15世紀であるため、それ以前に廃絶したと考えられる。

遺物の概要 古いものでは奈良時代の須恵器（坏蓋）があり、主として調査区北東の拡張部分から出土した。表土から出土した近世陶磁器は18世紀後半～19世紀の遺物（青磁染付、陶胎染付など）が多い。地蔵堂及びその周辺で出土しており、地蔵堂の祭祀が行われた時期を示すと考えられる。

まとめ 遺跡が所在する国ヶ峠は、最近まで使われていた里道が存在する。SX1（地蔵堂）はこの交通路の峠の祭祀に伴う遺構である。今回の調査で現存里道と異なる位置から中世の道路遺構が確認され、道路の付け替えが行われたことが判明した。峠部における交通路、祭祀の形態、地形の変遷過程が判明する調査事例となった。（久保田一郎）



石積み遺構



道路遺構

3. 斐伊川水系大橋川河川改修事業に伴う発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省出雲河川事務所から委託を受け、昨年度に引き続き大橋川北岸矢田地区の若宮谷遺跡を朝酌矢田Ⅱ遺跡とともに調査を行った。調査期間は令和元年6月24日～11月29日、調査対象面積は1,900㎡、調査体制は調査員1名、調査補助員2名で実施した。

若宮谷遺跡

調査の概要 本遺跡は松江市朝酌町矢田に所在し、大橋川下流の北岸にあり、河川幅員はこの周辺が最も狭くなる。遺跡は、現況が水田、畑で小さな谷が大橋川に接続する場所である。

調査区は、丘陵尾根上のA区、市道沿いの平坦地と丘陵斜面をB区としている。A区の標高は13m、黄色土（木次三瓶降下軽石層）に掘りこんだ溝（SD01,02）、ピット27を検出している。SD01は、南北方向で幅0.5～2.5mで、溝内から、須恵器、土師器、ビー玉等が出土している。断面が緩い傾斜であり、畑の道跡と考えられる。B区は市道沿いの水田部で明確な遺構は検出していない。平坦地に杭が打ち込まれ列をなしていた。朝酌矢田Ⅱ遺跡からも同様の杭列が検出され、C14年代測定から江戸時代前半とされることから、江戸時代以降水田として利用されていたと考えられる。B区東側の谷奥にはシジミを主体にサルボウを含む貝層が堆積していた。シカの角、タイ、エイの骨も出土している。貝層の下部は礫層となっており、縄文土器、黒曜石を含み、東側のシコノ谷遺跡と同様な堆積状況である。丘陵斜面の中段の平坦面から竪穴建物5棟、古代の堀立柱建物1棟、中世の堀立柱建物1棟を検出している。竪穴建物の周囲に「コ」の字状に溝が巡り、古墳時代前期の土師器壺が出土している。

遺跡は丘陵斜面に古墳時代から中世にかけて建物跡があり、谷部には礫層に縄文土器、石器が含まれていた。大橋側北岸において、縄文時代以降この地に集落が営まれていた様子が確認された。

（廣江耕史）



若宮谷遺跡位置図 (S = 1 : 25000)



竪穴建物

4. 国道 432 号（大庭バイパス）建設に伴う発掘調査

調査概要 この調査は島根県土木部から委託を受けて、平成 23 年度から実施している。今年度は下黒田Ⅱ遺跡の調査を行った。対象面積 1,300㎡(実調査面積 900㎡)を 6 月 3 日から 9 月 9 日まで、調査員 1 名と調査補助員 2 名で調査した。

下黒田Ⅱ遺跡

遺跡の概要 下黒田Ⅱ遺跡は松江市大庭町に所在する。遺跡は茶臼山南西麓の標高 22 m 前後の台地上に位置する。平成 30 年度に試掘確認調査を行い、遺構や遺物を確認したことから発掘調査を実施した。調査の結果、溝、土坑、掘立柱建物跡などを確認した。



下黒田Ⅱ遺跡位地図

遺跡の東側で室町時代（約 500 年前）の溝を確認した。溝はほぼ南北方向に延びる。規模は上面の幅 2.2 ～ 2.5 m、深さ約 0.4 m である。溝の埋土からは室町時代の青磁が出土した。上面が削平されている可能性があるが、現存の深さが

0.4 m であることから防御性は低く、遺跡を区画するための溝と考えられる。溝の途中には幅 1 m の陸橋状に掘り残した部分があり、遺跡の内外をつなぐ通路として使われたと考えられる。

また、遺跡の中央やや西側では江戸時代初め（約 400 年前）の土坑を確認した。長さ約 1.3 m、幅約 1.1 m、深さ約 0.5 m である。土坑の底から、陶器の皿が 2 点ほぼ完全な形で出土した。このほか、掘立柱建物跡を 3 棟確認した。柱穴から遺物が出土していないため時期は不明であるが、溝や土坑と同時期の室町時代～江戸時代初めと考えられる。このほかピットを 200 余り検出した。

まとめ 下黒田Ⅱ遺跡に隣接する川原宮Ⅲ遺跡では、平成 29 年度の調査で室町時代の区画溝や柱穴跡が見つかった。中世の大庭地区には、下黒田Ⅱ遺跡のほか川原宮Ⅲ遺跡や黒田館跡、下黒田遺跡など溝で区画した「屋敷地」が複数存在することが明らかになり、中世の大庭地区の様子を考えるうえで貴重な調査例となった。

現地調査終了後に整理作業を行い、報告書の刊行は令和 2 年度の予定である。 (中川 寧)



遺跡と茶臼山



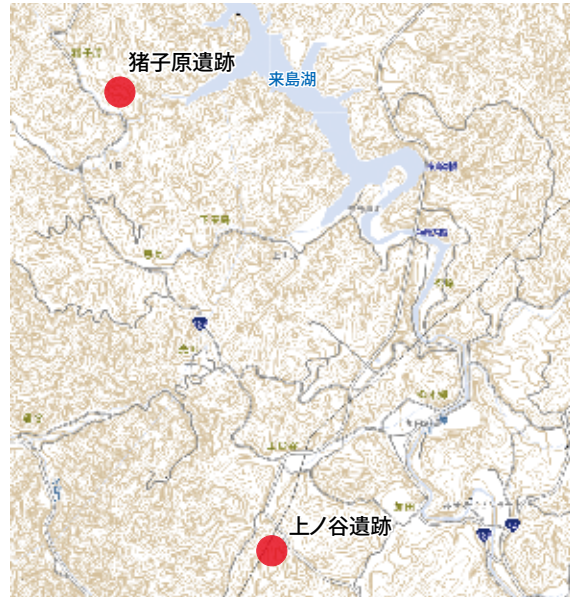
江戸時代初めの土坑

5. 大規模民間開発に伴う発掘調査

事業概要 この調査は民間企業から委託を受けて今年度から実施している。今年度は猪子原遺跡と上ノ谷遺跡（1区）の調査を行った。

(1) 猪子原遺跡

調査の概要 猪子原遺跡は飯石郡飯南町下来島に所在し、神戸川上流に位置する来島ダム周辺の丘陵尾根上に立地する。標高は約460mであり、周辺の谷部に形成された平野部との比高差は約60mとなっている。遺跡の立地する丘陵からは周囲が一望できる。現地調査期間は令和元年7月1日～9月3日、調査面積は500㎡、調査体制は調査員1名、調査補助員2名である。



調査遺跡位地図

遺構等の概要 調査の結果、古墳1基を確認した。古墳は丘陵頂部付近の痩せ尾根上に位置しており、長軸約20m、短軸約10m、高さ0.5mの方墳であることが判明した。古墳の築造については、墳丘基盤面を旧地表面の削り出しにより整形後、部分的な盛土を施すことで埋葬作業面を形成していることが判明した。埋葬終了後は盛土を墳丘全体に施し、墳丘構築を完了するという状況が認められる。主体部については、墳丘中央付近で1基検出した。墓壇の規模は長軸2.5m、短軸0.9m、深さ0.5mとなる。組合式木棺を埋葬施設に採用しており、墓壇底面を整地後、木棺を設置し、棺内外に土を充填し棺材を固定していることが判明した。また、木棺小口板の上方には小礫を配置し、棺材を固定している状況も認められた。棺内からは副葬品として鉄斧が出土している。時期については、副葬品や主体部の様相から古墳時代中期後半に比定できる。

まとめ 島根県と広島県の県境であり、中国山地の脊梁部に位置する高原地帯でもある飯石郡飯南町は、山陰と山陽を結ぶ中国山地の要所として古くから栄えている地域である。今回の発掘調査により、当該地域の古墳時代地域首長墓のあり方の一端が明らかとなった。発掘調査事例の少ない島根県中南部地域の歴史を考える上で貴重な資料といえる。



調査遺跡位置図



調査遺跡位置図

(2) 上ノ谷遺跡 (1区)

調査の概要 上ノ谷遺跡は飯石郡飯南町下来島に所在し、神戸川上流域に形成された平野部最奥に位置する後背山地中腹緩斜面に立地する。遺跡内には小河川が流れており、小河川を挟んで東側を1区、西側を2区とした。標高は約430mである。今年度は調査計画の都合上、1区東半部を中心に調査を実施した。調査地には三瓶山の噴火に伴う火山灰が堆積しており、三瓶太平山降下火山灰(第1ハイカ:約3,600年前)より上層で遺構・遺物を確認した。現地調査期間は令和元年8月21日～12月9日、調査面積は1,300㎡、調査体制は調査員1名、調査補助員2名である。

遺構等の概要 調査の結果、竪穴建物3棟、小土坑・土坑を多数検出した。

竪穴建物は、一辺4.5m程度の比較的大型(建物1)のものほか、一辺3.5m程度の竪穴建物(建物160)、一辺3m程度の竪穴建物(建物190)を検出した。建物1では、柱穴4基のほか、煙道を確認しており、柱穴内部からは土師器が出土している。竪穴建物解体後の儀礼的な様相を示していると考えられる。また、建物160では柱穴2基と煙道を確認した。なお、建物160は建て替えが確認でき、建築当初は煙道をもつ建物であったが、床土の貼り替えの際に、煙道を埋めている状況が認められる。なお、煙道内部からは土師器が出土している。建物190では柱穴が確認できておらず、簡易的な建物であった可能性も考えられる。

竪穴建物やその周辺からは遺物が多数出土している。建物1では土師器・須恵器などの土器や鉄器、石器が出土している。また、建物160では土師器坑が完形で出土している。これらの出土遺物は古墳時代後期後半頃に位置付けられることから、竪穴建物は同時期に3棟存続していたことが想定できる。なお、これらの竪穴建物に伴うと考えられるミニチュア土器も複数出土している。

小土坑や土坑も多数確認している。小土坑は約100基程度検出しているが、半数程度の小土坑が二段掘り状となっているため、柱や杭などをたてるに供されたものの可能性が高い。ただし、遺物を共伴しておらず、時期は不明である。

遺構に伴わない遺物として、縄文土器が多数出土している。縄文後期時代後半に位置付けられる土器を中心として出土していることから、本遺跡周辺に縄文集落が存在していることも考えられる。

まとめ 調査では古墳時代後期の集落を確認した。遺跡が小規模であることから、当該時期の集団が営む集落の最小単位であると考えられ、本遺跡周辺にも同程度の集落が複数存在していることが想定できる。また、竪穴建物の解体に伴う土器埋納といった儀礼行為など、小集落での精神的活動の一端も把握することができた。中国地方山間部の脊梁部に位置する島根県中南部地域における当時の社会集団のあり方を検討する上で貴重な調査成果であるといえる。(今福拓哉)



上ノ谷遺跡空撮写真



建物1完掘状況

VII 学術調査

1. 史跡出雲国府跡

調査の概要 国庫補助事業として平成 11（1999）年度から出雲国府跡の発掘調査を行っている。令和元年度は六所脇地区（政庁域）の南東～南側 400 m²を発掘調査した。現地調査は 6 月 10 日～12 月 17 日まで、調査員 2 名、調査補助員 2 名で実施した。

遺構の概要 令和元年度調査区は平成 27 年度 T59、T60、平成 30 年度調査区 T69 の一部を含む調査区である。昨年度調査で南北方向の大型柱穴列を検出していたが、今年度はそれらに対応する大型柱穴列を検出した。結果として、これらの大型柱穴列は、35 号建物跡と 36 号建物跡の 2 棟の建物と確認された。35 号建物跡は梁行 2 間×桁行 3 間で柱間は 3m（10 尺）である。36 号建物跡は梁行 2 間×桁行 4 間以上で梁間 3m（10 尺）、桁行 2.7m（9 尺）である。いずれの建物も重複関係から 2 度の建て替えが行われ、最終的には掘立柱建物から礎石建物へ建て替えられている。これらの建物跡は柱間の違いから 2 棟と考えられるが、屋根を共有した 1 棟の建物になる可能性もある。



出雲国府跡位置図

また、政庁正殿と考えられる SB020 の南側で石敷き遺構を確認した。石敷き遺構に重複する、もしくは同時に存在した可能性のある東西方向の溝を確認している。溝の埋土内からは 11 世紀後半～12 世紀後半頃の土師器が出土しており、およその廃絶年代が分かる。

遺物の概要 須恵器、土師器、緑釉陶器、瓦などが出土した。古代の遺構の基盤層からは 7 世紀代の須恵器などが出土している。遺構面までの埋土（造成土）から、墨書土器（「厨」）が出土した。

まとめ 今年度の調査により、政庁域と考えられる六所脇地区に新たな建物があることが判明した。35・36 号建物跡は、政庁正殿と考えられる SB020 に対して南北の主軸をとることから東脇殿と考えられる。また、今回の調査で初めて石敷き遺構を確認した。この遺構は儀礼空間である前庭を石敷きで飾ったものであると考えられる。今回の調査で不明な点が多かった政庁域の建物配置や変遷を考える上で重要な成果を得ることができた。（吉松優希）



調査区全景（南東から）



石敷き遺構（北から）

2. 山代原古墳

調査の概要 八雲立つ風土記の丘地内における重要遺跡の保護を目的とし、令和元年度から令和3年度まで継続して発掘調査を行っている。今年度は墳丘及び周辺地形の測量調査を実施し、2箇所のトレンチ発掘調査を行った。現地調査は11月20日から12月25日まで、調査員3名で実施した。

遺構の概要 墳丘は周囲を削平されているため、これまでその形態は不明であったが、地形測量の結果、方墳の可能性が高まった。



山代原古墳位置図

トレンチ調査では、墳丘東側で周溝の一部を確認した。周溝底までの深さは表土から約1.7mで、周溝上端は削平により確認できなかった。周溝の位置からおおよその墳丘規模が推定可能となり、石室が墳丘中心にある方墳と仮定した場合、一辺23m前後となる。墳丘構築については、地山→旧表土→盛土という層序関係から、整地した旧表土の上に盛土を行っていることが分かった。また、両トレンチの旧表土直上より20cm以上の「荒島石」（本墳の石室に使用されている石材）が複数確認されたことから、盛土を行う前に一度石材を運搬・現地加工した状況が窺える。盛土内にも同石材の小片を含む層があるため、その後も墳丘構築過程で幾度か石材の運搬・加工があったことを示す。

遺物の概要 古墳に直接伴う出土遺物は確認できず、年代に関する知見は得られていない。

まとめ 今年度の調査により、墳丘形態・規模が推定可能となり、古墳の構造及び構築過程を示す資料が得られた。石室構築を含めた古墳の築造プロセスをある程度復元できる可能性があり、当地域における後期古墳の技術的側面を考える上でも重要な成果と言える。 (岩崎孝平)



山代原古墳の石室式石室（南西から）



周溝の調査状況（西から）

3. 考古資料基礎調査研究（墓制調査）

西百塚山古墳群

調査の概要 この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが「考古資料基礎調査研究（墓制調査）」事業の一環として実施した。古墳群内で最大の円墳である西百塚山 19 号墳の築造時期と墳丘構造、墳丘規模を確認するための発掘調査を実施した。発掘調査は 5 月 8 日～5 月 31 日まで、古代文化センター職員 3 名、調査員 8 名、補助員 2 名で実施した。



西百塚山古墳群位置図

遺構の概要 今年度の調査では、西百塚山 19 号墳墳丘に 2 箇所の特レンチを設けた。発掘調査の結果、墳丘は地山を削り出して墳頂部のみ盛土をする構造で、葺石はもたないことが確認された。

遺物の概要 古墳にかかわる遺物の出土はなかったが、古代の須恵器片が出土した。このことから古代において、何らかの利用がなされていたものと考えられる。

まとめ 今回の調査で、昨年度の調査成果を追認する形ではあるが、墳丘は地山を削り出し墳頂部のみ盛土をする構造で、葺石はもたないことが確定的になった。墳丘規模は明確な墳裾が確認できなかったことから特定は難しいが、径 39～45m に復元される。2 カ年の調査をとおして、昨年度の特レンチ 1 でのみ埴輪が出土している。それらの状況から埴輪は局所的に樹立されていたと想定される。また、出土した埴輪から 5 世紀前葉～中葉に築造された可能性がある。（吉松優希）



19 号墳全景



盛土堆積状況

4. 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

本事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施し、現在当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心とした再整理を行い、その内容を明らかにするとともに、県民をはじめ一般に広く利用できるようデータベース化をはかることを目的としている。

8 年目となる今年度は、昨年度に引き続き、松江市西川津町に所在する朝酌川遺跡群のうち、『西川津遺跡 I』（島根県教育委員会 1980 年調査）と『西川津遺跡 II』（同 1982 年調査）の出土品について分類・データベース入力、実測図作成等の整理事業を行った。（岩崎孝平）

5. 保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水漬けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。水漬け木製品は、遺物の状態によってポリエチレングリコール（PEG）とトレハロースでの保存処理を使い分けている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行なっている。処理後の遺物は温湿度管理下において保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影・蛍光X線分析に関しては、調査現場、報告書撮影、保存処理での活用のほかに、市町村教育委員会・大学等を対象とした観察・撮影・分析も行なっている。

作業実績 出土遺物の保存処理は、未処理または、一度保存処理を施されているが状態が悪化したものについて、表1・2のとおり実施した。保存状態や活用機会の可能性を考慮して、保存処理計画を作成するとともに、古代出雲歴史博物館の展覧会や外部機関への貸し出しに対応するために、随時計画を調整して保存処理を進めている。

また、調査現場からの要請を受け、脆弱な遺物に応急処置を施したほか、土層断面のはぎ取りを行った（表3）。

理化学分析は表4・5のとおり実施した。これらの分析結果は報告書作成等に反映された。

（澤田正明・上山晶子）

(1) 保存処理業務実績

表1 木製品

遺跡名	掲載番号	資料名	処理方法	実施状況
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書Ⅳ(海崎地区2)(1988)				
西川津	125図-77	狭楾	トレハロース含浸	処理済
西川津	153図-229	匙	トレハロース含浸	処理済
西川津	153図-231	匙	トレハロース含浸	処理済
西川津	153図-233	匙	トレハロース含浸	処理済
西川津	157図-249	狭楾	トレハロース含浸	処理済
西川津	158図-256	匙	トレハロース含浸	処理済
西川津	164図-284	広楾	トレハロース含浸	処理済
朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書Ⅴ(海崎地区3)(1989)				
西川津	76図-26	ミカン割材/広楾	トレハロース含浸	処理済
西川津	77図-33	広楾(未)	トレハロース含浸	処理済
西川津	78図-40	広楾	トレハロース含浸	処理済
西川津	81図-52	広楾	トレハロース含浸	処理済
西川津	81図-55	丸楾	トレハロース含浸	処理済
西川津	84図-74	ミカン割材	トレハロース含浸	処理済
西川津	84図-75	不明木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	85図-77	ミカン割材	トレハロース含浸	処理済
西川津	85図-78	ミカン割材	トレハロース含浸	処理済
西川津	85図-79	ミカン割材	トレハロース含浸	処理済
西川津	86図-83	建築部材	トレハロース含浸	処理済
西川津	86図-84	建築部材	トレハロース含浸	処理済
西川津	86図-85	建築部材	トレハロース含浸	処理済
西川津	88図-92	田下駄	トレハロース含浸	処理済
西川津	89図-93	不明木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	89図-94	不明木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	89図-95	不明木製品	トレハロース含浸	処理済
西川津	89図-98	田下駄	トレハロース含浸	処理済
西川津	90図-106	匙状容器	トレハロース含浸	処理済
西川津	90図-107	匙状容器	トレハロース含浸	処理済
朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書Ⅲ(1990)				
タテチョウ	204図-W339	方形曲物	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	223図-W434	桜皮	トレハロース含浸	処理中
タテチョウ	223図-W435	桜皮	トレハロース含浸	処理中
朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書Ⅳ(1992)				
タテチョウ	94図-W39	アカトリ状製品	トレハロース含浸	処理中
一般国道9号(静岡仁摩道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書4(2017)				
古屋敷(G区)	96図-4	丸杭	トレハロース含浸	処理済
一般国道9号(三隅益田道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(作成中)				
上古市	21	建築部材等	トレハロース含浸	処理中

表2 金属製品

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書10 (2001)						
上野Ⅱ	120図-1	板状鉄製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
上野Ⅱ	120図-3	棒状鉄製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
上野Ⅱ	120図-6	棒状鉄製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書16 (2009)						
鉄穴内	123図-M7	鍛未成品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	132図-M30	鉄釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	132図-M31	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150図-M87	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150図-M95	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	150図-M98	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M271	鉄釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M273	鏝	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
鉄穴内	196図-M274	鏝	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M275	鏝	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M276	鉄鏝	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
鉄穴内	196図-M278	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	196図-M279	未製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M287	環状品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M289	刀	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M291	板状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	197図-M294	棒状不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M298	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
鉄穴内	198図-M299	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M300	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M302	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	198図-M307	釘?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	210図-M373	不明品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	212図-M378	U字形鉄製品	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
鉄穴内	243図-M416	鉄鎌	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理
鉄穴内	(仮)非-1	鉄塊	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理中	再処理

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
志津見ダム建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書20 (2003)						
板屋Ⅲ	113図-3	鉄鏝	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
板屋Ⅲ	113図-8	鏝?	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
板屋Ⅲ	113図-14	釘	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2 (2003)						
垣ノ内	45図-8	鉄斧	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書4 (2004)						
原田	94図-7	馬具	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書8 (2006)						
原田	113図-2	刀子	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
斐伊川放水路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書4 (1998)						
上塩冶横穴墓群第22支群	172図-19	古銭	青銅	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド B72)含浸	処理済	
上塩冶横穴墓群第22支群	172図-21	古銭	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
斐伊川放水路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書17 (2003)						
古志本郷	204図-9	不明鉄片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
古志本郷	223図-10	不定形鉄片	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理
古志本郷	223図-15	不明鉄器	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	再処理

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
風土記の丘地内遺跡発掘調査報告書17 史跡出雲国府跡4 (2006)						
出雲国府跡	100図-1	耳環	鉄	クリーニング・脱塩・アクリル樹脂(バラロイド NAD10)含浸	処理済	

遺跡名	掲載番号	資料名	材質	処理方法	実施状況	備考
鳥根県立古代出雲歴史博物館企画展「たたら 鉄の国 出雲の実像」 図録 (2019) (掲載番号カッコ内番号は、角田徳幸2017「錬鉄とその製作法」『たたら研究』特別号掲載の挿図番号)						
富田川河床	p.61-72 (図2-6)	錬鉄	鉄	クリーニング・アクリル樹脂(バラロイド B72)塗布	処理済	
富田川河床	p.61-72 (図2-7)	錬鉄	鉄	クリーニング・アクリル樹脂(バラロイド B72)塗布	処理済	
富田川河床	p.61-72 (図2-8)	錬鉄	鉄	クリーニング・アクリル樹脂(バラロイド B72)塗布	処理済	
富田川河床	p.61-72	錬鉄	鉄	クリーニング・アクリル樹脂(バラロイド B72)塗布	処理済	

Ⅶ 学術調査

表3 土層はぎ取り（平成31年3月1日～令和2年1月31日までに依頼があったもの）

実施日	依頼者	内容	備考
10月29日	島根県埋蔵文化財調査センター	若宮谷遺跡貝塚層	
11月25日	松江市	神後田遺跡環濠断面	作業指導・補助
12月16日	益田市	スクモ塚古墳土層断面	作業指導・補助

(2) 理化学分析

X線撮影は古代出雲歴史博物館において連携して行なった。

表4 赤外線観察（平成31年3月1日～令和2年1月31日までに依頼があったもの）

実施日	依頼者	内容	点数	備考
6月27日	松江市	田和山遺跡出土石製品への墨付着の有無の確認	4	

表5 蛍光X線分析（平成31年3月1日～令和2年1月31日までに依頼があったもの）

実施日	依頼者	内容	点数	備考
4月22日・23日	出雲市	出雲弥生の森博物館ギャラリー展「出雲の赤 —縄文・弥生時代編—」に伴う赤彩資料（海上遺跡・西谷2号墓等出土遺物）に使われた赤色顔料の同定	26	
5月16日～29日	島根県埋蔵文化財調査センター	出雲国府跡出土白色土壌の成分分析	3	
9月11日	出雲市	出雲弥生の森博物館ギャラリー展「出雲の赤 —古墳時代編—」に伴う赤彩資料（大念寺古墳・西谷4号墓等出土遺物）に使われた赤色顔料の同定	15	
10月29日	出雲市	出雲弥生の森博物館ギャラリー展「出雲の赤 —古墳時代編—」に伴う赤彩資料（猪目洞窟遺跡・築山1号墳等出土遺物）に使われた赤色顔料の同定	10	
11月20日	出雲市	出雲弥生の森博物館ギャラリー展「出雲の赤 —古墳時代編—」に伴う赤彩資料（西谷横穴墓等出土遺物）に使われた赤色顔料の同定	3	
12月12日	島根県埋蔵文化財調査センター	中上Ⅱ遺跡出土材質不明製品の成分分析	1	
1月22日～31日	島根県古代文化センター	益田市本郷遺跡湖州鏡・粟島原遺跡出土湖州鏡の成分分析	2	

6. 試掘確認・分布調査

(1) 令和元年度 試掘確認調査実績

事業 (予算)	事業名	名称等 (試掘実施時)	所在地	現地調査期間	調査対象 面積(m ²)	実施した調査 (トレンチ面 積合計)(m ²)	調査概要	本調査の要否 (本調査面積m ²)	調査員
確認調査 (国事業)	一般国道9号(大田静岡 道路)改築事業予定地	半明遺跡	大田市長久町長久	5月30日～ 6月7日	1600	56	中世の遺物包含層	要 (700)	角田 深田 園山
	一般国道9号(大田静岡 道路)改築事業予定地	栗林A遺跡	大田市久手町刺鹿	11月11日～ 11月15日	400	15	古墳時代後期～ 古代遺物包含層	要 (220)	深田
	一般国道9号(静岡仁摩 道路)改築事業予定地	小金川B遺 跡	大田市静岡町 大田市五十猛町	6月10日～ 6月24日	7553	88	弥生時代中期～ 後期遺物包含層	要 (900)	角田 大庭 深田 岩崎
	一般国道9号(福光浅利 道路)改築事業予定地	要注意箇所	大田市温泉津町吉浦84 外	9月17日～ 9月25日	3620	60	遺構・遺物なし	否	角田 大庭 岩崎
	一般国道9号(福光浅利 道路)改築事業予定地	要注意箇所	江津市黒松町200外 江津市後地町392.3外	10月9日～ 11月1日	30310	129.6	古代道路跡	要 (4000)	角田 大庭
	一般国道9号(福光浅利 道路)改築事業予定地	要注意箇所	江津市後地町2947.3外	令和2年 2月3日～ 2月21日	25790	124	遺構・遺物なし	否	角田 大庭 深田 園山
	大橋川改修事業予定地	要注意箇所	松江市朝酌町1088	6月20日		16	遺構・遺物なし	否	廣江 阿部
	国営土地改良事業事業 予定地	要注意箇所	出雲市国富町	12月3日～ 12月9日	6600	74.5	遺構なし	否	角田 大庭 園山
確認調査 (民間)	中国電力送電事業予定地	高城跡	出雲市知井宮町字北光 寺2368番1外	6月3日～ 6月12日	2200	76.8	中世城館跡	要 (900)	今福 岩崎
	中国電力送電事業予定地	上ノ谷遺跡	飯石郡飯南町下来島 3234外	10月15日～ 10月30日	1500	32	古墳時代後期集 落跡	要 (1200)	園山

(2) 令和元年度 分布調査実績

事業 (予算)	計画事業名	所在地	調査期間	市町村協力など
確認調査 (国事業)	一般河川江の川直轄河川改修事業予定地	江津市桜江町大貫地内	12月21日	江津市
	一般国道9号(出雲湖陵道路)改築事業予定地	出雲市東神西町～出雲市湖陵町	6月13日	出雲市
	一般国道9号(湖陵多伎道路)改築事業予定地	出雲市多伎町久村地内	9月30日	
	一般国道9号(静岡仁摩道路)改築事業予定地	大田市五十猛町地内	6月20日	
	一般国道9号(三隅益田道路)改築事業予定地	浜田市三隅町岡見地内 益田市津田町地内	11月20日	益田市
確認調査 (民間)	中国電力送電事業予定地	出雲市佐田町 雲南市掛合町 飯石郡飯南町 邑智郡美郷町	12月11日～13日 3月3日・5日・9日	出雲市

VIII 県内発掘調査一覧

市町村など（令和元年12月27日までに通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書				調査の目的・契機等	
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)		発掘予定期間
1		南外古墳群				江川幸子 →廣濱貴子			
2	散布地	塩冶小学校付近遺跡	出雲市塩冶町 580 他	31.4. 11 文財 第 32 号	出雲市教育委員会 教育長横野信幸	須賀照隆	30.0	31.4.16 ~ 31.4.16	集合住宅
3	散布地	鹿蔵山遺跡	出雲市杵築南 1354- 1,1354-4	31.4. 12 文財 第 31 号	出雲市教育委員会 教育長横野信幸	石原聡	8	31.4.18 ~ 31.4.19	個人住宅
4	集落跡	南外古墳群	松江山市代町字岩 井手谷 929 番 5	31.4. 5 ま文埋 第 9 号	松江市長松浦正敬	江川幸子	620.0	31.4.8 ~ 1.7.26	宅地造成
5	集落跡	奥宇田瀬遺跡	松江山市矢田町字宇 田瀬 508 番 1 他	31.4. 22 ま文埋 第 35 号	松江市長松浦正敬	徳永隆	90	31.4.23 ~ 31.4.26	宅地造成
6	集落跡	渡橋沖遺跡	出雲市渡橋町 897	31.4. 17 文財 第 49 号	出雲市教育委員会 教育長横野信幸	須賀照隆	12	31.4.23 ~ 31.4.23	店舗
7	散布地	堤下遺跡	松江山市東持田町字 堤下 111-5,111-6	31.4. 25 ま文埋 第 41 号	松江市長松浦正敬	川西学	3	31.5.8 ~ 31.5.10	宅地造成
8	社寺跡	出雲国分寺跡	松江山市竹矢町字寺 領 103-2	31.4. 26 ま文埋 第 51 号	松江市長松浦正敬	三宅和子	9.00	31.5.13 ~ 31.5.24	個人住宅
9	集落跡	半田浜遺跡	江津市二宮町神主 1820-25 地先	1.5. 21 江教社 第 65 号	江津市教育委員会 教育長小笠原隆	伊藤創	400	1.5.21 ~ 1.6.21	土砂採取
10	散布地	ドロケ遺跡	松江市新庄町 806 外	1.5. 28 ま文埋 第 82 号	松江市長松浦正敬	徳永桃代	527.6	1.5.29 ~ 1.10.21	農業基盤整備 事業
11	—	南外古墳群 (計画変更)	—	1.5. 30 ま文埋 第 83 号	松江市長松浦正敬	廣濱貴子	—	30.12.3 ~ 1.6.28 (1.5.31)	—
12	横穴墓	神門横穴墓群	出雲市神西沖町地内	1.5. 24 文財第 153 号	出雲市教育委員会 教育長横野信幸	石原聡	1,021	1.6.17 ~ 2.1.31	河川
13	集落跡	山居空遺跡	松江山市浜乃木 2 丁目 757	1.6. 14 ま文埋 第 11 号	松江市長松浦正敬	徳永隆	190.0	1.6.17 ~ 1.6.28	宅地造成
14	生産遺跡	縄手製錬遺跡	邑智雲邑南町久喜 1839 他	1.6. 10 邑教生 第 40 号	邑南町教育委員会 教育長土居達也	大野芳典	120	1.6.10 ~ 1.9.30	学術研究
15	城下町遺跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町森 村口 123	1.7. 5 津教委第 792 号	津和野町教育委員会 教育長世良清美	伊藤悟郎	160	1.7.10 ~ 1.9.4	保存目的の範囲 内容確認調査
16	集落跡	下古志遺跡	出雲市下古志町 548-4 ほか	1.7. 23 文財第 320 号	出雲市教育委員会 教育長横野信幸	須賀照隆	100.0	1.7.29 ~ 1.8 下旬	集合住宅
17	散布地	外ヶ市 I 遺跡	出雲市斐川町神水 198-5,198-12,2022 の一部	1.7. 25 文財第 323 号	出雲市教育委員会 教育長横野信幸	幡中光輔	20	1.8.2 ~ 1.8.2	宅地造成
18	(変更通知)	岩井手谷遺跡		1.7. 24 ま文埋 第 159 号	松江市長松浦正敬			1.4.8 ~ 1.8.30 (1.7.26)	
19	散布地	鳥ヶ崎遺跡	松江山市玉湯町林 1205-1	1.6. 27 ま文埋 第 119 号	南山大学人文学部 人類文化学科 准教授上峯篤史	上峯篤史	43	1.8.20 ~ 1.9.10	学術研究
20	官衛跡	下黒田遺跡	松江山市大庭町地内	1.8. 2 ま文埋第 172 号	松江市長松浦正敬	徳永隆	75	1.8.5 ~ 1.8.16	宅地造成
21	(変更通知)	南外古墳群		1.7.31 ま文埋第 170 号	松江市長松浦正敬			H31.12.3 ~ R1.8.30(1.7.31)	
22	古墳	常楽寺柿木田古墳群	出雲市湖陵町常楽寺	1.8. 16 文財第 364 号	出雲市教育委員会 教育長横野信幸	幡中光輔	1,500	1.8.26 ~ 2.3.31	道路
23	集落跡	楨ヶ廻 I 遺跡・楨ヶ 廻 II 遺跡	雲南市加茂町三代 1662-7 ほか	1.8. 13 雲教文 第 115 号	雲南市教育委員会 教育長景山明	高橋誠二	250	2.1.15 ~ 2.3.20	道路
24	城下町遺跡	浜田城下町遺跡	浜田市殿町 78 番地 2	1.8. 16 教文第 269 号	浜田市教育委員会 教育長石本一夫	藤田大輔	36.0	1.9.2 ~ 1.11.29	保存目的の範囲 内容確認調査
25	集落跡	神後田遺跡	松江山市浜乃木 5 丁目 1190-1 外	1.8. 23 ま文埋 第 192 号	松江市長松浦正敬	三宅和子	230	1.8.26 ~ 1.10.11	保存目的の範囲 内容確認調査
26	散布地集落跡	高西遺跡	出雲市塩冶町 1385- 6,1385-7	1.8. 23 文財第 397 号	出雲市教育委員会 教育長横野信幸	須賀照隆	6	1.8.28 ~ 1.8.28	個人住宅
27	集落跡	奥宇田瀬遺跡	松江山市東津田町奥 宇田瀬 508 番 1 外	1.8. 30 ま文埋 第 205 号	松江市長松浦正敬	廣濱貴子	430	1.9.2 ~ 1.12.27	宅地造成
28	城下町遺跡	松江城下町遺跡 (母 衣町 115)	松江山市母衣町 115	1.8. 29 ま文埋 第 200 号	松江市長松浦正敬	小山泰生	26.25	1.9.9 ~ 1.10.29	その他の建物 (地下タンク設置)
29	散布地集落跡	新庄谷内遺跡	松江市新庄町 815-1	1.9. 4 ま文埋第 217 号	松江市長松浦正敬	徳永桃代	1,180	1.9.12 ~ 2.1.28	農業基盤整備 事業 (農道等 を含む)

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書				調査の目的・契機等	
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)		発掘予定期間
30	社寺跡	山代郷南新造院跡	松江市山代町 174-5	1.10. 3 ま文埋第 258 号	松江市長松浦正敬	川西学	1	1.10.4 ~ 1.10.4	個人住宅
31	道路	陰地遺跡	雲南市大東阿用 655-1,658	1.9. 24 雲教文第 171 号	雲南市教育委員会教育長景山山明	志賀崇	580.93	1.10.1 ~ 1.10.31	道路
32	散布地集落跡	杉沢Ⅱ遺跡	出雲市斐川町上直江 2281 ほか	1.9. 13 文財第 454 号	出雲市教育委員会教育長榎野信幸	須賀照隆	35	1.10. 上旬 ~ 1.10. 上旬	道路
33	散布地貝塚	南原遺跡	出雲市大社町北荒木中分 497-1	1.9. 18 文財第 461 号	出雲市教育委員会教育長榎野信幸	須賀照隆	6	1.9.26 ~ 1.9.26	個人住宅
34	集落跡	下古志遺跡	出雲市下古志町 857	1.10. 8 文財第 499 号	出雲市教育委員会教育長榎野信幸	須賀照隆	6	1.10. 中旬 ~ 1.10. 中旬	その他の建物 (高齢者向け賃貸住宅)
35	散布地	大塚遺跡	出雲市大塚町 1349-1	1.10. 17 文財第 532 号	出雲市教育委員会教育長榎野信幸	須賀照隆	24	1.10.23 ~ 1.10.23	集合住宅
36	集落跡官道	朝酌遺跡	松江市朝酌町 934-7,938	1.1. 11 ま文埋第 303 号	松江市長松浦正敬	徳永崇	4.0	1.11.12 ~ 1.11.15	ガス・市道電気等
37	散布地集落跡	杉沢遺跡	出雲市斐川町直江 3793 番地 1	1.10. 28 文財第 556 号	出雲市教育委員会教育長榎野信幸	須賀照隆	5	1.11. 上旬 ~ 1.11. 上旬	その他開発 (携帯基地局)
38	集落跡	若宮谷遺跡	松江市朝酌町 1034-1 外	1.11. 11 ま文埋第 304 号	松江市長松浦正敬	小山泰生	1,350	1.11.18 ~ 2.3.25	その他開発 (共同墓地)
39	散布地集落跡	大庭住宅東遺跡	松江市大庭町字長者原 12-2	1.11. 14 ま文埋第 313 号	松江市長松浦正敬	川西学	32	1.11.15 ~ 1.11.15	宅地造成
40	集落跡	当貫遺跡	松江市上乃木 4 丁目 2116-2,2116-11	1.11. 26 ま文埋第 256 号	松江市長松浦正敬	川上昭一	290.2	1.11.27 ~ 1.12.6	宅地造成
41	散布地貝塚	南原遺跡	出雲市大社町北荒木中分 536-5	1.11. 26 文財第 631 号	出雲市教育委員会教育長榎野信幸	須賀照隆	6	1.12. 上旬 ~ 1.12. 上旬	個人住宅
42	散布地集落跡	B16 遺跡	松江市大庭町字小原 1095-1	1.12. 3 ま文埋第 343 号	松江市長松浦正敬	三宅和子	3	1.12.4 ~ 1.12.4	個人住宅
43	散布地集落跡	高西遺跡	出雲市塩冶町 1737-3	1.11. 29 文財第 640 号	出雲市教育委員会教育長榎野信幸	須賀照隆	6	1.12. 1.9 ~ 1.12. 1.9	個人住宅
44	散布地集落跡社寺跡	神門寺付近遺跡	出雲市塩冶町 893	1.12. 12 文財第 667 号	出雲市教育委員会教育長榎野信幸	須賀照隆	18	1.12.24 ~ 1.12.24	宅地造成
45	散布地	神庭丘陵北遺跡	出雲市斐川町神庭 222-2	1.12. 13 文財第 670 号	出雲市教育委員会教育長榎野信幸	須賀照隆	8	2.1.6 ~ 2.1.6	個人住宅
46	集落跡	奥宇田瀬遺跡 (変更届)	松江市東津田町奥宇田瀬 508 番 1 外	1.8. 30 ま文埋第 205 号	松江市長松浦正敬	廣瀬貴子	4301486.7	1.9.2 ~ 1.12.27 2.3.25	宅地造成

県 (令和元年 12 月 27 日までに通知のあったもの)

番号	対象遺跡			発掘届出書・通知書				調査の目的・契機等	
	種別	名称	所在地	届出年月日	通知者届出者	発掘担当者	発掘面積 (㎡)		発掘予定期間
1	散布地	森原上ノ原遺跡	江津市松川町八神 247 外	31.4. 5 鳥教埋第 13 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	東森晋	2,140	31.5. 20 ~ 31.12. 20	河川
2	集落跡	下黒田Ⅱ遺跡	松江市大庭町 58-8 ほか	31.4. 11 鳥教埋第 28 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	中側寧	1,300	31.5. 20 ~ 31.9. 30	道路
3	古墳	猪子原遺跡	飯石郡飯南町下来島 1593 番 2 外	1.5. 31 鳥教埋第 120 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	今福拓哉	500	1.7. 1 ~ 1.11. 30	その他の建物 (鉄塔建設)
4	散布地集落跡	上ノ谷遺跡	飯石郡飯南町下来島 3234 番 1 外	1.5. 31 鳥教埋第 120 号の 1	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	今福拓哉	1,000	1.7. 1 ~ 1.11. 30	その他の建物 (変電所建設)
5	集落跡	小金川 B 遺跡	大田市静間町字下藤井 782 外 18 筆	1.5. 31 鳥教埋第 141 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	深田浩	100	1.6. 10 ~ 1.6. 28	道路・その他の開発 (盛土施工)
6	散布地集落跡貝塚その他の遺跡 (洞穴遺跡)	若宮谷遺跡	松江市朝酌町 1032-3,1038,1043,1045-2 外	1.6. 10 鳥教埋第 148 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	伊藤智	1,900	1.6. 12 ~ 1.11. 30	河川
7	散布地	朝酌矢田Ⅱ遺跡	松江市朝酌町 1015-1 外	1.6. 14 鳥教埋第 169 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	廣江耕史	1,600	1.6. 17 ~ 1.11. 29	河川・港湾
8	散布地	森原上ノ原遺跡	江津市松川町八神 252-3 外	1.7. 24 鳥教埋第 219 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	宮本正保	1,460	1.8. 1 ~ 1.12. 20	河川
9	古墳	国ヶ峠遺跡	益田市木部町イ 1835 外	1.9. 5 鳥教埋第 258 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	久保田一郎	500	1.10. 1 ~ 1.12. 20	道路
10	散布地集落跡	上ノ谷遺跡	飯石郡飯南町下来島 3234-1 外	1.10. 1 鳥教埋第 326 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	園山薫	1,700	1.10. 15 ~ 1.10. 31	その他の建物 (変電所建設)
11	古墳	永久宅後古墳	松江市山代町 562	1.11. 5 鳥教埋第 342 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	間野大丞	25	1.11. 20 ~ 1.12. 27	保存目的の範囲内容確認調査
12	散布地集落跡	栗林 A 遺跡	大田市久手町刺鹿字オノ峠 2836,378-1	1.11. 7 鳥教埋第 338 号	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター所長	深田浩	200	1.11. 12 ~ 1.11. 29	道路

IX 刊行物

1. ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）

名称	発刊月	部数	内容
ドキ土器まいぶん No.65	令和元年7月	8,200	石見地方の山城の特集など
ドキ土器まいぶん No.66	令和2年3月	8,200	令和元年度に実施した発掘調査など

2. 報告書

報告書名	部数	編集担当者	遺跡の概要
川原宮Ⅲ遺跡 国道432号大庭バイパス建設に伴う埋蔵文化財調査報告書2	278	間野大丞	川原宮Ⅲ遺跡は『出雲国風土記』に「神名樋野」と記された茶白山の南西麓に位置している。遺跡一帯は古代から中世にかけて出雲の中心地である。調査の結果、室町時代の大規模な区画溝や江戸時代の土坑など、中世から近世にかけての遺構・遺物を検出した。当地域における土地利用の変遷を知るうえで貴重な成果が得られた。
京田遺跡2区・中上Ⅱ遺跡 一般国道9号（出雲湖陵道路）改築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書6	288	園山 薫 深田 浩	京田遺跡2区では、縄文時代中期末の配石土坑を検出し、縄文時代後期後葉を主とする土器や石器が出土したことにより、丘陵裾部に生活圏があったことが明らかとなった。 中上Ⅱ遺跡では、丘陵谷間を流れる自然河道北岸の平坦面で弥生時代後期～古墳時代終末期の加工段を5基検出し、谷奥側でも加工段状に構築された土器集中箇所を2箇所検出した。これらは川岸付近に位置しており、川辺で何らかの祭祀が行われた可能性がある。また加工段の上層には中世前半期に造成されたとみられる盛土が厚く堆積しており、築堤に伴う盛土の可能性も含め谷間北岸を整地する大規模な開発が行われたことを示唆している。
尾ノ上遺跡 桜田遺跡 一般国道9号（大田静間道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書4	277	大庭俊次 守岡正司	尾ノ上遺跡では、弥生時代から中世にかけての遺構・遺物が検出されている。標高約25～30mの丘陵上に位置し、弥生時代後期の可能性がある箱式石棺を埋葬主体とする墳墓1基と弥生時代の大溝を検出した。桜田遺跡では、後世に改変を受けた横穴墓1基と近世以降の石切場を検出した。
蔵廻り遺跡・榎坂窯跡 一般国道9号（三隅益田道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2	281	久保田一郎	蔵廻り遺跡では、戦国時代の河道跡及びピット・土坑群が確認された。河道跡からは輸入陶磁器が出土している。河道跡は、江戸時代初期に水流が途絶えた後は水田化し、水田に伴う石垣、根太列が確認された。ピット、土坑の一部は中世にさかのぼると推定される。榎坂窯跡では瓦を焼成した連房式登窯、工房と推定される礎石建物跡が確認された。遺物の刻書等から、操業者は江里安太郎氏、操業時期は大正時代から昭和初期と推定される。
嶺口古墓・上古市遺跡 一般国道9号（三隅益田道路）改築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書3	284	久保田一郎	嶺口古墓では、中世～近世の古墓を確認した。中世末期～近世前半にさかのぼる一石五輪塔が出土している。加工段の造成など居住域としての利用は近世以後とみられる。 上古市遺跡では弥生時代から中世にわたる木製品が層的に出土した。中世の層では、杭列、木樋状遺構などが確認され、出土木製品の器種は、弥生・古墳時代は部材が中心で、中世は農具が多い傾向がみられる。

3. パンフレット

名称	部数	概要
御堂谷遺跡	3,000	大田市に所在する御堂谷遺跡について、周辺の遺跡と比較しながら、集落の変遷や機能について分かり易く解説したパンフレット。A4 カラー 8P

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報 28
—令和元年度—

発行	2020年3月
編集	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター 〒690-0131 松江市打出町33番地 TEL 0852-36-8608 E-mail ; maibun@pref.shimane.lg.jp http://www.pref.shimane.lg.jp/maizoubunkazai/